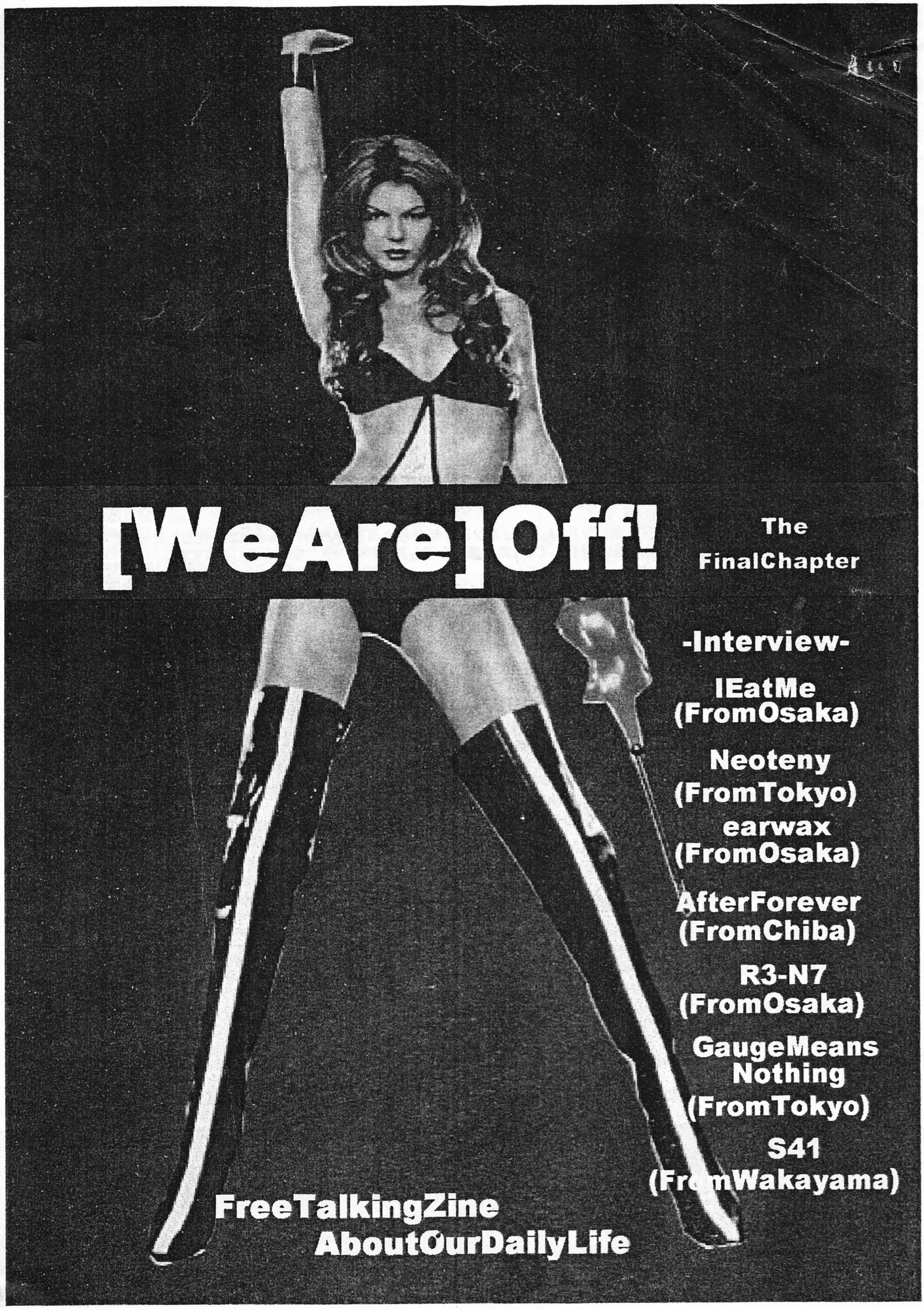

[WeAre]Off!
The
FinalChapter
-Interview-
IEatMe
(FromOsaka)
Neoteny
(FromTokyo)
earwax
(FromOsaka)
AfterForever
(FromChiba)
R3-N7
(FromOsaka)
GaugeMeans
Nothing
(FromTokyo)
S41
(FromWakayama)
FreeTalkingZine
AboutOurDailyLife

[WeAre]Off!-TheFinalChapter-

こんばんわ♪[WeAre]Off!というFreePaperを書いてるカヨです。以前は相方(Sackey)がいたのですが、この最終章は私の我侭で単独発行いたしました。ほんまは前号でやめようかと思ったんやけど、何か？最後に区切りをつけたくて制作することにしました。今回Inteviewしたバンドを知らない人にもWeAreOff!を通じて興味をもってもらえるとありがたいです。

肝心の内容ですが…全て私の好きなバンド、好きな人でこの(WeAre)Off!を完成させています。こんなことを書いたら(ただの自己満足的なPaperじゃないか?!)って思う人もいるかも知れませんが許して下さい(謝)。[WeAre]Off!はこの号でもう最後なので…。[WeAre]Off!企画Vol、2は実現できなかったけど、せめて最後にこういうカタチでも発行できたこと嬉しく思ってるし、やりたいって思ったことをこんな風に表現できて満足してます。

Interviewに答えてくれたバンドの皆様、協力どうもありがとうございました。少しでも多くの人にこのPaperを読んでもらえますように(願)。

■ IEatMe (From Osaka) ■

私のInterviewの時はテンション低め?やったのに対し、笠沼さんとのChatInterviewはテンション高めやったね?それとあまりに下品で猥褻な言葉は削除しました(ゴメンナサイ?)。うーん、ちょっと自己嫌悪入ってしまったよ…。これから先のR3-N7さんとの企画楽しみにしてるね♪それと初音源の完成も待ってます。飲み友達の少ない私の飲み会を開いてくれてありがとさんでした。破廉恥なこともたくさんしてごめんなさいでした…。

■ Neoteny (From Tokyo) ■

大量のCD-Rの提供ほんと感謝してます。WeAre～制作過程では色々と行き違い?があって大変だったけど…。Interviewの時点では歌詞の把握してなくて申し訳なかったです。(相変わらず段取りが悪い!)。後日送られてきた歌詞を載せる事ができて良かったです。やっぱりNeotenyの視点は好きです。「欠落した私の…」は今の私の感情そのままでした…。個人的にはヨシミさんに大変迷惑をかけました…。酔っぱらって愚痴を聞いてもらえた日は今となっては苦い思い出です(笑)。

■ earwax (From Osaka) ■

初期の頃からライブに行ってるけど、回を重ねる事に激しさが増してってるような…。Interviewの時ミズノ氏が一番緊張してたような記憶があります。メールでは色々と励ましてくれてありがとう!

■ AfterForever (From Chiba) ■

唯一[WeAre]Off!企画に出てくれたバンドさんです。ホント昨年から比べるとAfterForeverは新化したなーって私は実感しました。今後はどんな風に変化していくのか楽しみでもあります。VAも楽しみにしてますね。

■ R3－N7 (From Osaka) ■

Interview当日は大した事聞けなくてしかもライブ前という非常識な時間にお願いして申し訳なかったです…。後日、たくさん編集して頂いてありがとうございました。HPは凄くお洒落で毎回遊びに行く時に見るの楽しみです。これからのIEatMeさんとの企画&ライブも期待してます!

■ GaugeMeansNothing (From Tokyo) ■

結構土壇場のInterview依頼だったんですけど答えてくれてほんと感謝でした…。それとGaugeMeansNothingに関する事殆ど理解してなくてごめんなさい。関西でライブした時の印象だけでお願いしました。今後も企画やVA参加、GaugeMeansNothing音源等がんばって下さいね。笠沼さんスゴクありがとう!

■ S41-SpringIn41- (From Wakayama) ■

あんなに見てて気持ちの良いライブは久しぶり。Interviewもさっぱりしてるならライブもさっぱりしてたね…。かっこよいです。Greatです。友達も言うてたけど〃日本には珍しいバンド〃やと私も思った。これからもその調子でお願いします。たわっち〃最後に何かやれ!〃って背中押してくれてさんきゅです。

■ はたらくひとたち (KasanumaSan&Ryuzakikun) ■

Interviewしてくれた笠沼さん、このページのデザインしてくれた龍崎君、どうもありがとう。そしてこのページのInterviewに答えてくれたごう君(DECIDE、PALUKA、CHESTNUT、SOLDISTRIBUTION)、てけろ君(WOMB)どうもありがとう。

■ MiyukiHanada(MyFriends) ■

いつもかまってくれてありがとね。また、お洒落なBar探索しようね♪これからもたくさん喧嘩しよー!そして何事もなかったかのようにまた遊んだり飲みに行ったりしようね。これからもよろしく。

■ ShunsukeTakahashi (MyFriends) ■

このPaper期間中にNagativemailばかりでごめんね…。そんな私を支えてくれたのはしゅんのmailのチカラもありました。しゅん自身も学校2で大変な時期とは思うけどがんばってね。そしてコラムありがとう。

■ TerukoSakimoto (WeAreOff!Friend) ■

さっきーも私も今となってはバンド以外のものに興味を持ちつつあるね…しかしさっきーと私はまだまだ友達♪これからも楽しいと思えることどんどんやって行こうね。また、まだんや他の美味しい店一緒に行こう!それと映画や温泉もまた誘ってね。

では、大した事Interviewできてないかもしれませんが読んでもらえるとHappyです…。

Index
IEatMe/Neoteny/earwax/
AfterForever/R3-N7/GaugeMeansNothing/
S41/Hatarakuhitotachi/
Miyuki/Shunsuke/Sackey/

IEatMe

Interview

■ 私バージョンのInterviewはある家(9/14)でメンバーと、笠沼さんバージョンはチャット(10/1)にてです。
(私→以下K、笠沼さん→以下Yu)。

K →メンバー紹介をお願いします。
田坂聡亮(Vo)です。 →(以下T)。
富秋匡史(G&Vo)です。 →(以下To)。
守川聡(Ba&Vo)です。 →(以下M)。
堂岡邦行(Dr)です。 →(以下D)。
Yu →じゃあ質問です。田坂君と守川君は別のバンドにいたってことだけど、なんてバンドでどんな音だったの?いやっほう!!
M →ゆってようーー(照)。
T →はずかしいな～～～～。
Yu →えへへ。いやっほう!!
T →メタリックでいわゆるメロデスっぽいやつでした。
Yu →ふんふん。そのバンドで音源出したりしたの? あとパートは今と同じ?
M →ええと、あんましまともに活動できてないのですけどね。パートは同じですよ。僕ベースしか弾けないし。
Yu →田坂君はVo?バンド名もよかったら教えて。
T →パートは今と一緒ですけど自分たちの持ち味は全然いかされてなかったなー。まだちゃんと決まってなかったっす。
M →そうだっけ?
T →そういうことにしとけーーーー!!!
Yu →じゃあそのバンドを田坂君と守川君が辞めて、今にいたるんだ。そのバンドはその後どうなったの?
M →自然消滅ですね。悪い事したかなあ。でもやりたないことはできんのですよね。
T →そのまま解散いたしました。前のギターの子はフルフィルメントでベースでがんばってるよ。
Yu →そうなんだ。じゃあ富秋君と堂岡君のIEatMe以前にやっていたバンドを教えてください。
M →興味深々。
D →僕は専門学校時代の友達と二人でスラッジみたいなのをやってました。
To →尾崎豊を家で一人で弾いたりしてました。
T →いやっほう!!
K →好きなバンド、影響を受けたバンドは?
T →Anomie、You&I、RedRightThings、インディアンサマー、Anasarca、FingerPrint、WithLoveetc。
To →鉄槌、Palatka、NiceView、Metallica、Soul FrowerUnion、Crikets、HotCross等、色々です。
D →ブランキージェットシティーとレッドホットチリペッパーズです。音楽にハマるキッカケにもなりました。
M →たまとかコールターオブザディーバーズとかくるりとか好きです。最近よく聞くのははじめにきよしです。好きなベーシストはスティーブハリスとポールジャクソンとかわいしのぶです。
Yu →いやっほう!!じゃあ次の質問。IEatMeを結成するときはあらかじめやりたい音を決めてたの?
M →僕が前のバンドで却下された曲をやろうとしました。
D →僕はだまされて入りました。田坂君にだまされました。叩けなくてもいいから叩いてくれって言われました。今ではおかずをイッパイ入れろと…。ヨヨヨ。
To →僕は田坂君に告白されました(笑)。
Yu →田坂君に告白されたんですか。愛ですね。愛。
To →Iですよ。愛!

T →僕も却下された曲がどうしても作りたかったからです。
Yu →却下された曲って今みたいな感じ?
M →いまだにやってます。
T →一曲目のやつですよ。
Yu →一曲目って東京でやってたときの?
M →二日目の時は三曲目ですね。
Yu →ああ、あれかあ。まあメロデスバンドじゃ却下されてもしょうがないかもね。
M →僕、前のバンド辞めるのに辞めれんかったのでした。なんか思い出した。
Yu →辞めれなかったの?
M →いやあ、なんてゆうか辞めたいなあと思いながらズルズル続けてたら田坂君が入ってきたのです。
T →ぼくは土台をつくりにバンドに加入しました。
Yu →土台をつくりにってどういうことですか?
T →そうです。メロデスバンドですよ。僕は今みたいな音楽がしたくて
M →そうです。んで、田坂君にいろいろ聴かせてもらってこりゃあんたこんなことやってる場合じゃないよと。まんまとのせられました。
T →それをするためのきっかけづくりですよ。もともと自分のしたいうやつに変えるつもりでした。
Yu →じゃあ守川君は田坂君にいろいろ聴かしてもらう前はアイアンメイデンとかのメタルっ子だったの?
M →んー、聞くぶんだけですけどね。メロデスバンドは手伝いのつもりがいつのまにかメンバーに…。僕(コールターオブザ)ディーバーズとかすきやったのですよ。
Yu →曲は守川君が作ってるの?
M →今はそんな感じです。僕もってってます。
3人 →そんな感じです。
Yu →ベースで作るの?歌も一緒に作るの?
M →ギターはコードとかがんばれば押えるのでたいがいギターで作ります。あー、でも風呂で鼻歌で考えるのが一番多いです。
T →僕は布団でいびきかいてます。
M →今のところごり押しで形にして持っていくのが一番効率がいいかな、と。みなさんどうかしら?
3人 →そうおもいますね。
Yu →じゃあ次の質問。歌詞は田坂君が書いてるみたいだけど、具体的にどんなことを書いてるのか教えてください。ちなみに歌詞は日本語だよね。
M →興味深々丸。
T →おもに自分勝手なことでございます。一番感情をこめれることって何かというとやっぱ恋愛感情なんでしょうかね。
Yu →恋愛のことを歌ってるの?
T →その場その場の感情的なことや思い出なんかです。
Yu →みんなは歌詞知ってるの?
D →一曲だけしってます。
M →僕だいたいしってます。

LookUp!

IEatMeLive@2002/10/08/Tue/NanbaBears

Yu →じゃあ一曲だけ説明してください。東京の二日目で一曲目にやったメロディックなやつの歌詞教えて。
T →あれは昔にちょっと忘れれない人がいてそのときにいろいろ悩んでたことです。あほっぽいよね。
Yu →なんかちょっと切ないね。あの曲いいよね。
T →曲はいいね。歌詞はあほっぽいね(笑)。
M →曲は僕がもってきました。ほめられちった。
Yu →具体的に見ないとわからないけど、あほっぽくないと思うよ。
Yu →前にやってた最後の守川君のベースがすごい曲はもうやらないの?
M →どれでしょう?チョッパーしてたやつですか?
T →たいしたことないよ。
M →まあ!!
Yu →スタジオで最後にやった曲。チョッパーはしてたっけなあ。なんかベースソロみたいな守川君の土壇場って感じの曲。
T →やるの???
M →あ、はい。なんかうまくまとまらなかったので。あれでもそない大層な事してないのですよ。
Yu →でも曲としてはすごくいいのに。
T →納得逝かないからですかね。いつか復活させたいです。
M →あらうれしい。でもやっぱ細かいとこ気になるのですよね。今はあれを直すより新曲作った方がいいかなと。
T →新曲でもうすぐできそうです。
M →あとは弾けるかどうかです。
T →あと三回スタジオ入ったらくらいかな???たぶんかんなりカオティックな曲です。
K →守川君のベースは何時も憧れ憧れしながら聞いてしまいます(憧)。指で弾いてるのは何時頃からですか?
M →え一始めた時からです。ベースはそういうもんやと思ってて気付いたらピックでは弾けません。今でも早い曲は弾けません。
Yu →じゃあ次の質問。みんな普段仕事とか何してるんですか?趣味とかも教えてください。
M →雑貨屋でバイトしてます。趣味は漫画です。
D →スーパーとラーメン屋の手伝いです。趣味は漫画です。
To →建築現場で働いてます。趣味は同じく漫画です。
T →とあるコンタクト屋で働いてます。趣味はコミックですよ。
Yu →仕事であった面白い話しとか聞かせてください。グチでもいいですよ。
D →100キロのアニメオタクの先輩にボディーブロー入れられました。
To →毎朝おっさん300人くらいとラジオ体操(第一)をしています。
M →シャブ中が数珠を返品にきました。そいつの汗で床に水溜りができました。もう一人のシャブ中が「神様のペンダント買ったけど全然きかへんから2000万だせ」といいました。店の常連なんですがみるみる痩せております。そういえば最近姿を見ません。ボカーーン。
T →社内恋愛している東山君が今日彼女と北海道に旅行に行きました。
Yu →堂岡君は何でボディーブロー入れられたんですか?
D →理由はまったくわかりません。そいつはカラオケでさくら対戦を熱唱してました(セリフつき)。
Yu →11月にスタジオライブの企画をやるみたいだけど、それについては何か思うところはありますか。
M →他のバンドさんを見るのが楽しみです。
T →できるだけ安くていいもの見せれるようにがんばりますって感じです。
M →安いってゆうのは素晴らしいと思います。バンドさんにもお客さんにも負担少ないし。それにPAさんと合わんライブハウスでやるより良いと思います。
Yu →スタジオライブってことに何か意味ってありますか?
T →意味はないけど定期的にたくさんやりたくて。
Yu →じゃあこれからも今後やっていくの?
T →そのつもりですよ。毎回地方からも好きなバンドさんよんでやっていきたいですね。
Yu →じゃあ次の質問。音源は出さないんですか?
T →来年を予定しています。僕の誕生日までには出したいです。
M →正直今の段階で録音に耐えれる演奏ができるかどうか…。
Yu →じゃあ2月くらい?
T →2月13日ですかね～～～??
M →そうなの!?
Yu →じゃあ守川君は音源に付いてどう考えてるの?
M →やっぱし作るからにはきちんとしたいんですよ。
T →テープ作品としてですか??
M →僕はデモで考えていますよ。今の僕らじゃ雑だからねえ。ライブはある程度ごまかしてるしね。ほんまはいかんけど。
Yu →わかりました。多分ぼくが日本で一番楽しみにしてると思います!!
M →いやん、うれしいわあ。
T →ありがとうございます。がんばりますよ!!!
Yu →じゃあまた次の質問。バンドをやっていることに何か意味を求めてますか?
T →僕は仕事とバンドを両立させる環境を作りたかったのもあります。
M →意味って大層な物ではないかもしれませんが表現の場があるのはとてもありがたいしこうして共感してくれる方がいるっていうのは嬉しい限りです。

LookUp!

NextPage!

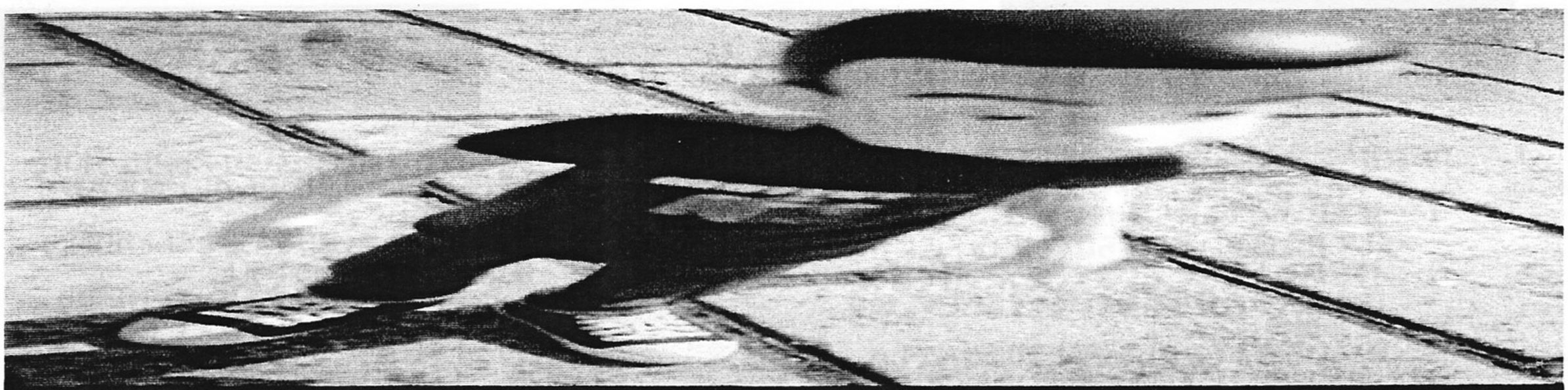
I Eat Me

Yu →なんか普通に生活していて表現したいものがあってそれをやるためにバンドやってるってある?
T →趣味はいつまでも持ち続けたいって感じです。仕事してお金の使い道が解らなくてブランド店にお金つぎ込むよりよいと思います。かっこつけて言うともう一人の自分を求めているってことです。現実と非現実。
M →いろいろ考えてみましたがまとまりませんでした。単純に楽しいってのが一番近いかもです。
Yu →なるほど。じゃあ田坂君はどんな自分を求めてるんですか?
T →人から見れば意外な自分です。新しい自分です。現実からの息抜きと思えば僕も楽しいってのが答えなんですかね。音楽やっててストレス感じないし、曲ができて達成感あるし。今の仕事には達成感はありません(悲)。
M →一生懸命やることってなかなかないのですよね。うーんむずい。
Yu →わかりました。なるほど。今後の目標ってある?
T →僕はとりあえずいろんなところでたくさんやりたいです。でもその前に努力ですね。音源とかね。
M →ぼくは良い曲で来て発表の場があるのが一番だと思います。他にもいろいろあるけどそのこと疎かにすると本末転倒になっちゃいそうです。でもね、やっし東京呼んでもらえたり今度の神戸(LADDERBACKのツアー)呼んでもらえたりするとやっぱ浮かれちゃうのです。音源とかも形にしたって事に満足してしまいそうでいやです。僕らミーハーですから。
Yu →LADDERBACKがんばってね。それについてはどうですか?
M →ぼくらがびっくりです。
T →僕もほんとうれしいよ。出れなくても見に行ってた企画でした。
M →幻滅されんようプレッサーです。はい。
T →とてもうれしいですよ。なんで僕らが出ていいのかわからんくらいですね。
Yu →1年位前に田坂君に送ってもらったテープではメロディがそんなに前面に出てなくて不協和音を多用するような印象が強かったけど、それ以降の曲はかなりメロディアスになってきてますが、それはなんででしょう。
T →たぶん年とってきたので目路ディックなほうが聞きやすいのかな??(笑)
Yu →守川君どうですか?
T →もりもりなんでなん???
M →うんと、メロディーの意識はずっとあったのですよ。
Yu →あとはぺーちゃん(元BlueSkyResembleSorrow、ギター)がメロディ足りないよって言ったからですか(笑)??
T →それもあるね。(笑)
M →うん、痛いとこつかれたって(笑)。
Yu →じゃあ前からメロディアスなものが好きで、ただそういう曲を書いてなかっただけってこと?

LookUp!

M →いや、当時は目いっぱいメロディックなつもりでした(笑)。でも次の曲どうなんでしょ?田坂君昨日のテープ聞いた?
T →聞いたよ。最後早く弾けるようにならんとね(笑)。次はかなりカオティックですよ。
Yu →IEatMeは大阪で活動するバンドだけど周りにいるかっこいいバンドとか教えて下さい。
M →ロザンナやばかったですよ。
T →うん。ライブが凄いです。新曲は感じ変わってたよ。
M →なんか全然違いましたよ。モーターヘッドみたいだーと思いましたもん。ロックでした。
T →ロックしてたねーーーー。
Yu →他にはいる?
T →まわりと呼べるようなバンドさんがそこまでいなくて…トレイター43はパンクですがかなりかっこいいですよ。
Yu →守川君はなんかある?
M →友達がやってた7fuseがかっこよかったけど今やってないみたい。でもその友達がこないだベース1本でノイズやってた。10秒くらいでベースブン投げて終わったけど素敵でした。
K →IEatMeっていうバンド名の由来は何ですか?
T →えー自分が自分の為にっていうニュアンスをつけたかった。後、わかりやすく、優しい言葉にしたかった。で、まぁつづりはデタラメ風だけど、自分は自分を食いモノにして生きているって感じの名前です。
K →IEatMeってバンドを説明する時にどんなバンドって説明したら良い?
T →わかりません…。
M →1曲平均5〜6分、3曲ぐらいしかないです…。
D →絶叫RockRoman派(真顔!)
(一同爆笑)
K →これからのIEatMeはどんな風に新化していきたいですか?
To →とりあえずもっとギターうまくなりたいですね。
T →個性をもっと出せればな…。
D →自分がやってておもしろい曲ができたらなと思います。
M →音楽的には、激しいところは激しく、ロマンティックに、中途半端な所は中途半端に。
K →最後に何でもいいのでメッセージを下さい。
T →えー読んで頂いてありがとうございました。かよさんもありがとうございました。
D →ありがとうございます。お疲れ様です。
To →末永く続けていきたいので皆さんよろしくお願いします。
Yu →じゃあ最後です。何か一言あれば。
T →長い時間ありがとうございました。
M →まだまだ駆け出しですが楽しくできるようがんばります。ライブ後の酒が美味いのが一番です。ウマ〜イ。ありがとうございました。

~IEatMeContactUs~
e-mail/ieatme@hotmail.com
Tel/090-9611-8130



NEOTENYInterview@Mail

■ WeAreOff!Vol.2のInterviewも答えて頂いて、また今回も受けてくれてどうもありがとうございます♪まずは、まだNeotenyの事を知らない皆様の為にメンバー紹介をお願いします。
ギターのヨシミです。 →(以下Y)。
ヴォーカルのタカヲです。 →(以下T)
ベースのアキバです。 →(以下A)
ドラムのサトウです。 →(以下S)
ギターのユウタです。はじめまして。 →(以下Yu)

■ それとデモCD-Rの提供ありがとうございます。凄く感謝です(嬉)…。
Y →こちらの方こそワガママを聞いてくれてすごく感謝しています。
T →このdemoは実は前回うちの企画「場所…理由。。。」で無料配布したものなんですが、この機会に僕らを見る機会があまりない人達に音源とInterviewという形で触れてもらえればと思って。こういうことはなかなか無いことなので…。

■ Neotenyの紅一点だったミキさんが脱退されましたが、ミキさんがいなくなってNeotenyの音的にはどんな風に変化していきそうですか?ミキさんのFanはかなり多くいたんですが(羨)とても残念です。ミキさんの後メンバーを加入する予定ってありますか?
Y →メンバーは常に募集しています。キーボードじゃなくてもなんでも。音的にはいちおうビジョンはあるけど、実際どうなるかはユウタはもちろん、これから入ってくる人によって全然変わってくると思います。
T →個人的にはこれからも楽しい仲間を増やしていきたいです…。

■ 新メンバーのユウタ君はもうNeotenyに馴染んできましたか?
Yu →もともと知り合いだったので、いい雰囲気でやってます。

■ メンバーから見たユウタ君の印象は?
T →人間的にNeoteny的にいい感じで歪んでいます。

■ ユウタ君加入によって、これからのNeotenyの音に新化はあると思いますか?Neotenyのことだからどんどん新化はし続けると思うのですが…。
T →メンバーチェンジもあったりしてそれぞれの色々な思考が交差して、そこに新しい思考が混入すればまた何か新しい何かにたどり着かないと面白くないですから。
Y →ここ数ヶ月はうちらにとってとても重要なポイントでした。音的にも意識的にも。まだそこにいるかわなんだけど、結成当時の構成に戻ったということで、またこれから何でもできると思っています。ユウタがこの時期に入ったのも何かの縁だし、確実に変化していくだろうし、そういう意味では僕ら自身も楽しみですね。

■ Neotenyが関西のバンドじゃなくて、ライブも見れない状況でかなり悔しいんですが…最近の東京でのライブはどんな感じですか?せめて頭の中でイメージして空想に耽りたいので教えて下さい。
T →やってることは変わらないけど、メンバーも変わって曲に対する解釈も変わってきたんで客観的に見たときに以前とは違っているかもしれません。
Y →今年の春にVoのセキネが抜けてその時からタカオがギターを辞めてボーカルに専念しています。みきちゃんが抜けた時は一時Vo、Gu、Ba、Drの4人編成でやった事もありました。デモを6月に配っていたのでこれまでとは違った印象を受けた人もいたみたいです。僕らとしてもこの時期に結成当時の構成でライブをしてみて、多少違和感を感じながらもすごく新鮮でした。

■ Neoteny企画はどれぐらいのペースで行われてるんですか?また企画の反響?等あれば教えて下さい。
A →去年第1回目の企画をやって、年1回のペースでやっていく方向ですが、仕事などの都合で今後定期的に出来るかなかなか難しくなるかもしれません。都合さえ合えば積極的にやっていきたいです。

■ 2曲入りのデモCD-R後、音源を出す予定とかはありますか?
A →近いうちにCD-Rの曲ともう一曲でデモを録ろうと思っています。

■ ライブ体験を出来ないので、せめて音源だけでNeotenyを堪能してる私は次回作もかなり楽しみです。
A →ありがとうございます。

■ 前回の2曲入りデモCD-R。これは何時完成されたものなのですか?
A →今年の3月末にレコーディングしたものです。うちの企画「場所と理由」の第二回に無料配布しました。
T →今回は僕らにとってかなり実験的なレコーディングで、ちょっとした遊び心も入っています。

■ 曲、歌詞はどんな風に完成していくのでしょうか?その完成までの過程を教えてもらいたいです。
T →歌詞は曲の途中で作り始めるので、曲にあわせて歌詞を変えたり、またその逆もあります。書き溜めた短編の詩を軸にしてあとは言葉を足したり引いたり書き直したりして凄く不透明な感じであったりちょっと不快な感じだったり自分の中の感覚に近づけて行く感じです。
Y →曲はとても長いスタンスで作っています。一度まとまってもすぐに変えたり分解したりしてるんで。「細胞浸透」もネタを持ってきたの一年以上前で、今の形になるまでに3度ほど180度変わっていますし。これからも変わっていくだろうし。ここ最近は年に一曲のペースですね。今年になってからみんな就職とかで以前よりスタジオに集まれる機会が少なくなってしまってますますペースが遅くなっています…。

Neoteny

■ 手元に歌詞カード的なものはないのでどんな事を歌ってるのか凄く興味があるんですけど…どんな事を歌詞・曲の中に込めてるんでしょう?

T →今回の曲は1stDemoの「僕の三日月」との3部作で基本的には同じ事を言っています。歌詞的にはNeotenyのイデオロギー的なものが含まれていて、自己紹介でもあります。歌詞を作るにあたって、歌詞というイメージを持たずに「欠落した私の欠落した思考」にあるとおり、あくまでも言葉の羅列であって、きっと自分のイメージした言葉とその構成によって受けるイメージは自分の意図したものと他人と受ける印象とは違うだろうけど、聴いた、見た個人がいろいろと想像できるある意味「あそび」の余白を空けているつもりです。ちなみに、自分の今3作のテーマは「屈折の美学」で、誰も言わない、言おうとしないごくあたりまえに存在する屈折感がテーマです。

■ 「細胞浸透」この曲の誕生秘話?なんかがあれば教えて下さい。それと同様に「欠落した私の欠落した思考」の方も教えてもらいたいです。

T →歌詞的な観点ではひとつの短編を違う方法で組みなおしたり別の観点から考察しなおしたりしてできた「僕の三日月」「細胞浸透」「欠落した私の欠落した思考」でひとつのNEOTENYの世界観を表現しているつもりです。自分はいつも短い詩しか書かないのですごく苦労して…でもそのおかげで新しい書き方もいくつか思いついたのでまた次へ行けそうです。

■ この時はまだミキさんのキーボードは導入されてますね…凄く細やかな音使いがありますが…そういうアレンジ的な事は皆で考えるんですか?

Y →曲を持ってきた時点ですごくあいまいに注文することはあるけど、基本的にはみんな自分のパートに関してはやりたいようにやっています。メンバー同士で細かく注文つけ合うってことはあまりないですね。全員のセンスやワガママがぶつかり合ってなにかよくわからないものが出来ても、後で「もしかしてこれかっこいいんじゃないか?」っていう。ある意味事故的な部分に期待してるっていうのもあります。でもシンプルに収まりたくないっていうのはありますね。

■ 「欠落した私の欠落した思考」は絶叫・囁きが絶妙に絡み合って…ボーカルスタイルはどんな風に構成されていくのでしょう?サビの部分で女性?の声も綺麗にハマってて…感動したんですけど。激しさと叙情的な部分を持ち合わせたようなギターとキーボードのリフも涙出そうでした…。

T →歌い方よりも自分の場合よりイメージに近いステージングからなので…意識した事ありませんでした…。

■ 私が企画してNEOTENYを呼べる状況を作れたら良かったんですが…全く実行できなくて本当に申し訳ないです。

Y →とんでもないです。WeAreOff企画第一回のときに出られなくてごめんなさい。でも誘ってくれてありがとう!インタビューも二回も誘ってもらって、うちらはただでも外への露出が少ないのでこういう貴重な機会を与えてくれたカヨさんには本当に感謝しています。

■ 最後にWeAreOff!!は今回でラストなんですが…何か言葉をもらえるとありがたいです。

Y →今回カヨさん一人でのWeAreOff復活、そしてラスト。いろいろな思いがあっての決断だったと思うんだけど、ここにもう一度インタビューとして参加できたことをとてもうれしく思っています。これからもまた違った形で一緒になにかできればいいですね!今回は本当にありがとう!そしておつかれさま!これからもがんばって下さいね。

■□ NEOTENY Contact Us … □■

e-mail →neoteny64@hotmail.com

NEOTENY/DEMOCD-R…

01.細胞浸透

存在のすり替え 他物質との融和
侵食され続ける自我

過去の連続 猜疑心 自己愛
侵食し続ける自我

自己の存在の為の他者の否定
選択の恐怖 すがる集団意識

瞼の奥を閉じて 手を塞ぎ
蝸牛への波すらも
そこに在ることすら気づかせない
完全自閉 究極の美

陳腐な表現すら口に出せず
カリモノノ言葉、偽りの心で
自己表現 記憶の羅列
細胞浸透のごとく均一化される
他人の目 自分の目 瞼の光

与えられた想像世界
カケタ月の裏側
何一つ超えられず
痛み…

何もないものを掻き集め
何もないものを創る
カリモノノ言葉と カリモノのココロで

02.欠落した私の、欠落した思考

欠落した私は欠落した思考で
不完全な循環を続ける
消費された 見過ごした過去
再び…

マルは壊れるために存在し ただ回り続ける
僕はここにいる

光は眩しくてココにはいられない
闇は孤独で僕を殺そうとする

僕が僕であることなど紙一重
僕が発する言葉など何一つ信じるな

僕に触れないで 残り僅かな熱を奪わないで
恐いだろ?

でも僕はココにいて循環は続く

足りない「私」はここにいて
何が悪い 君もそうだろう?

earwax

Interview@2002/08/31/Sat/　新神楽/神楽企画〃雑音集会Vol. 2

■ メンバー紹介をお願いします。

水野貴光(以下M) →Scream+G
木場雅人(以下K) →G
立花成二(以下T) →Dr

■ earwaxっていうバンド名の由来？を教えて下さい。

M →辞書をペラペラとめくって調べてたら、最初は曲名にしようと思ってたけどそれをバンド名にした。

■ 影響を受けたバンドは？

M →おそらく、星の数ほどあるでしょうね。語りつくせないです(笑)。
K →う～ん、やっぱコラプテッドですかね～(笑)。
T →影響と言われると難しいものがありますが、最近はNEUROSISとかよく聞いてます。

■ earwaxの曲・詞はどんな風に完成していくんですか？完成していくまでの過程を教えて下さい。

K →えーまず水野が持ってきたリフから皆で煮詰めていく感じが多いですかね？最近はリズムから作るのが多いですね。
T →まぁ、ウチラはきちんと決まってないですね。
M →家で鼻歌から作ってます。その音をギターで弾いて録音します。詞はレコーディング直前に書く事が多いです。

■ 初期に比べると最近のearwaxはかなり曲構成が変化してきたけど、何かキッカケみたいなのがあったんですか？

M →キッカケは特にないですね。ただ、相談しながら煮詰めていくことはあったかな？

■ 今年のライブも体験してきて感じてる事なんですが、ライブも去年に比べるとかなりCrazyな展開でライブパフォーマンスも目を見張るものがあります(私談)。見ててとてもハラハラドキドキします。ライブで心がけてる事とかあるんですか？

T →いやぁ～僕らテクニックないんで…(笑)。
(全員失笑…)
M →チューニングがくるわないように気をつけてます。結局はいつもチューニングがくるいまくってます(笑)。
T →ライブごとに一つ目標を立ててやってます。例えば〃今日は五回叫ぶぞ！〃後はぶっ倒れる。音楽的なことはないんですけど(笑)。
K →特に心がけてることはないです。無心です。

■ 水野氏のMCで「皆さん負け組みですか～?」っていうのはかなり自分の中でウケました(笑)。earwaxの皆様は勝組みぢゃなくて負け組みなんですか？

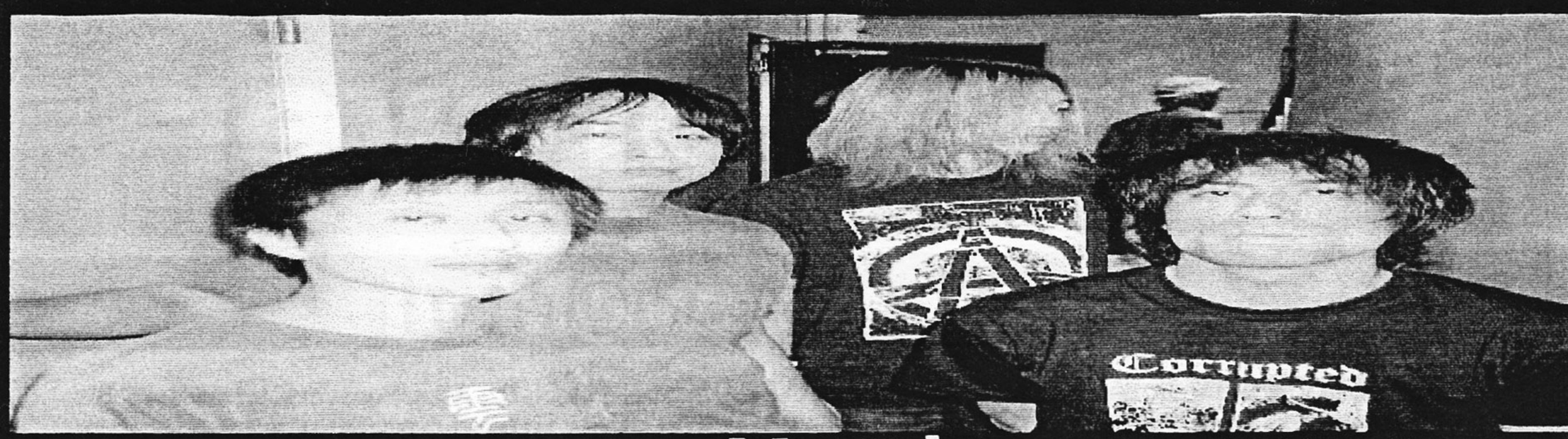
T →でも、最近パチンコで勝ってますよ。
K →今の時点ではわからないですね。
M →勝つとか負けとかいう人生は嫌ですね…。競争ばかりでなく皆楽しくやれたらいいのに。人生って難しい…。
(一同頷く…)

■ そういえば…最近の木場さんのライブパフォーマンスは元気がないような印象を受けます…どうしてですか?

K →…。
M →飲み過ぎちゃいますん?(注:木場さんはお酒飲めません)
T →グランツーリスモのし過ぎやねん。
K →(笑)。

(この日の神楽企画のAllNightのライブで木場さんは終盤戦で多少？去年の木場さんパフォーマンスに復活したたように感じました。フラフラでしたね…でもそんな木場さんが素敵でした！)

earwax earwax earwax earwax earwax earwax earwax earwax earwax earwax



earwaxMembers...

■ 立花さんは…ドラムセットが分解してしまいそうなイキオイで?ライブをこなしておられますが、あんなに激しくドラムを叩いててもリズムがくるうことなくこなしていけるのはどうしてですか?
T →リズムくるってるでしょ?(一同笑)。あーでもこの前、某ライブハウスでライブ後呼び出されたかな…(苦笑)。

■ earwax企画は今後も続行して行く予定ですか?前回のカルマステンチとの共同企画は好評でしたよねー?また企画を共同で行うとしたらどのバンドと企画していきますか?
M →僕等の好きなバンドとできたらいいですね。カルマステンチとの企画第二弾もやりたい！
K →うーん×3、企画は大変ですが、共同企画は楽しいですね(笑)。
T →僕はFooFightersとやりたいですね。

■ 今後のearwaxはどんな風に新化していきたいですか?
M →あー着実に、かつ自然に模索していきたいです。良いと思うものを良いという形で表現したいです。
K →同感!
T →特に具体的には出てこないですけど、他のバンドが(earwaxに似てるね)とか言われるように成長したいですね。

■ 今、earwaxが日本で好きなバンドを教えて下さい。
M →TLIZI、カルマステンチ、SCALENE。
K →GAUZE(ガーゼ)やね。
T →BIGME。

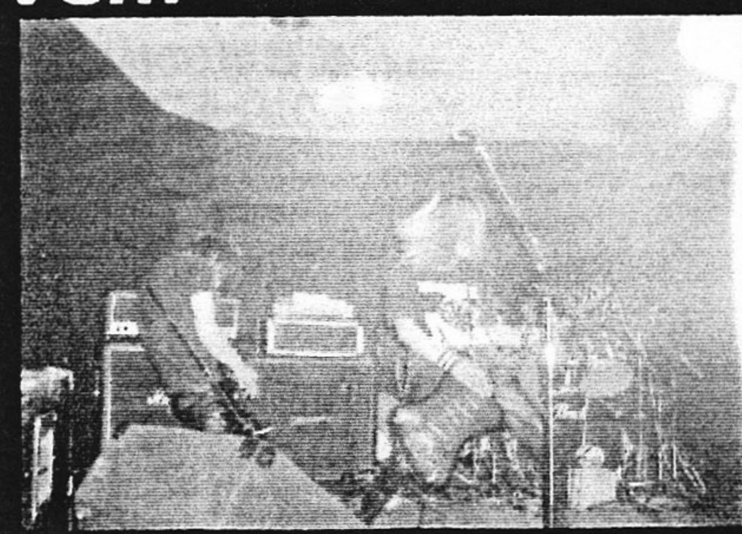
■ 皆にとってのearwaxとは?
M →音楽。
T →生活の一部…こんなもんでいいでしょうか?(笑)。
K →暇つぶし。
M&T →シネ。
K →じゃあ気晴らしで…。
M&T →ウザイ、ダマレ。

■ 最後に何でもいいのでメッセージをお願いします。
M →今後もコツコツライブしていくんで皆さん良かったらまた見に来て下さい。
K →常に解散とは背中合わせですが、長く続けていきたいと思います。
M&T →木場さんもういいよ、帰る?
K →またまたぁ～そんなこと言うて俺のことスキな癖に。
T →皆さんライブ誘って下さい。
(木場さん皆に放置される…)
一同 →今日はどうもありがとうございました。これからも、よろしくお願いします。

■□ earwax Contact Us … □■

WebSite →http://www.geocities.ne.jp/MusicStar-Live/5415/index.html
MailTo → neomzt@hotmail.com
Tel → Mizuno/090-1244-2096

earwax@SinKaguraLive...



AfterForever

Interview@Mail

■ 最初で最後?だったWeAreOff!!企画に出て頂いてありがとうございました。AfterForeverにInterviewするのは初めてなんですけどここで今のAfterForeverを知らない人にメンバー紹介をお願いします。
シロウ →Gt.Voのシロウ(以下S)、Ba.Voのユウキ(以下Y),Gtの雄三(以下Yu)、Drのネギチン(以下N)です。

■ 好きなバンド、影響を受けたバンドを教えて下さい。
S →HisHeroIsGone、LedZeppelin、You&I、KingCrimson、TOOL、SpikeShoes、Envy。
Y →Convergeとか普通に好きだけど、特にこれっ！といったバンドはないです。敢えて言うなら昔のNineDaysWonder。ベースラインのかっこいいバンドは好き。影響を受けるのは常に自分の周りのバンド、fivekindsSquareやENFORCEとかいろいろ。この辺は影響も受けるし、尊敬するバンド。
Yu →TOOL、KingCrimson、LedZeppelin。
N →MinorThreat、SpikeShoes、NiceView。

■ うちの企画に出て頂いた時はどっちかというと極悪色?が強かったような気がするんですけど…しばらくAfterForeverから離れてるうちにずいぶん曲調が変化したような気がするんですけど、それは何か?キッカケみたいなのがあったんですか?
S →新しい感じに変えるため前のVoをクビにして僕とユウキで歌うようにしたからだと思います。あとはドラムのネギチンは前のVo抜けるちょっと前に入ったんだけど、彼が器用なのでいろんなリズムの曲ができるようになったからってのもあります。
Y →もともと極悪色はないとおもいます(笑)。

■ これまでの音源、これから先に出す予定の音源等あれば教えて下さい。
S →00年に最初のメンバーでの2曲入りデモテープがあって、01年に違うメンバーで4曲入りのCD－R、02年春に今のメンバーでの3曲入りCD-Rがあります。全部廃盤です。今後は今年冬にWOMBのこうすけ君が新しく立ち上げたKURECORDSのmynotebookisaiwaysfullofscribblesというコンピに1曲参加します。参加バンドは、WOMB/ENFORCE/OVERGREED/GaugeMeansNothing/EvilEyeEmpireです。それは年末頃のリリースらしいです。その後3曲入りのCD-Rを再録します。アレンジとかだいぶ変わったので。

■ AfterForever企画はどんな風にバンドさんのセレクトをしていますか?また、これまで企画した中で一番思い出深いAfterForever企画があれば教えて下さい。
S →単純にかっこいいバンドってのが第一で、次にちょっと変な組み合わせを考えます。自分が客としてライブ見る場合もジャンルがバラけた方が好きなので。でも統一感は出すように心掛けてますけど。一番思い出深いのは～っていってもまだ3回しかしてないですけど、やっぱ1回目です。一人で全部やったし人生初めての企画だったので大変でした。
Y →いつも呼びたいバンドを皆であげて、声をかけているだけですね。
Yu →全部です。

■ 今、ベースのユウキ君とギターのシロウ君がボーカルをしてるワケですが、バックじゃないボーカルをするにあたって抵抗?みたいなのはなかったですか?そして何故2人でボーカルをする事になったのですか?
S →抵抗は最初かなりありましたけど、もうそうするしかなかったんで…。でも今は僕が歌詞書いているし、自分で書いたものは自分で歌うのが自然だと思います。スタイルで絶叫してるわけじゃないよって。2人で歌うってのはツインの方が好きだし、弾きながら歌う負担も減るから。
Y →2人ボーカルをやることになったきっかけは、前のボーカルの脱退によるもの。当時は新しいボーカルを入れようかというのもあったけど、結局2人で頑張りましたね(笑)。なんとか歌えるようにはなってきたけど、それでも楽器を弾きながらってのは難しい。試行錯誤の繰り返しって感じです。

■ ユウゾウ君のステージングは激しいですね?怪我とか大丈夫ですか?
Y →どうなの雄三君?3回目の企画のときとか腰から落ちてたみたいだね(笑)。最近は静かにちゃんと弾きますよ。
Yu →…。

■ ビデオでしかAfterForeverのライブ体験を出来ないんですけど(涙)、2人のボーカルは上手く絡みあってると思います。
S →ありがとうございます。たまに楽器弾く方追いついてないですけどね。興奮しておかしくなってくると楽器弾くのがめんどくさくなります。
Y →ありがとうございます。僕はもっともっと絡みたいんですが…。

■ 私は歌詞とか読む方なんですけど、このデモCD-Rには歌詞が入っていません…。どんな事を歌っているのか凄く気になるんですけど教えて下さい。

S →Depresseddaysっていうのは僕の親父のことです。今は「小さいころのトラウマが後の人生を決める」なんて思ってませんけど、この歌詞を書いたときはそう思ってました。ちょっと特殊な父親で、今はだいぶ仲良くなりましたけど。中高あたりの日記を元に書いたので、これはホント昔の感情です。Endtogoはある友人に対する怒りの曲です。これを書いたころから「必要のないつながりは情を捨てて切った方がいいんだ」って強く思うようになりました。でもこの曲はもう違う曲のように変えてしまって、歌詞も別のものになりました。3casketsは…パスさせてください。昔の歌詞はホント個人的過ぎてあまり答えたくないです。今はもう少し一般的なのを書いているので今後は歌詞もみせていくようにしていきます。今度のVAに参加する曲の歌詞はWEB上で公開しています。よかったらみてみてください。

■ また、曲や歌詞は誰が作ってるんですか?AfterForeverの曲はどんな時に浮かんでくるんでしょうか?

S →僕がどっちも作ってます。曲は普段ギターを弾いてるときにふとできます。なるべく全部のパート一緒に考えて、ドラム打ち込んだりギター多重録音したりします。それがある程度できたら普段移動中とかにそれ聴いて、浮かんだアレンジでまた打ち込み・多重録音して…それを繰り返してできます。

■ AfterForeverをまだ知らない人にAfterForeverを説明するとすればどんな風に伝えれば良いですか?

S →友人がうちのバンドのこと、「カオティックとかまだあまり聴いてない人にはある種の優越感を与える」って言ってたけど、うまいなあって思いました。僕はポップなものを作ってます。海外のカオティックのような複雑さはないと思います。でも真剣に絶叫してます。

Y →難しいですね。実際聴いてもらった方が一番伝わると思います。(そりゃ当然だけど…。)やっててカオティックや激情系のエモとかにも通じるような感じはするけど、それらとも違うような気もします。

■ これから先にAfterForeverはどんな風に新化していきたいですか?

S →音的なことだったら、あくまで希望ですけど、「その音楽として存在する必然性」みたいなのが表現できたらいいなあって。難しいこと言いますけど…。70年代のハードロック/プログレのようなアクの強さが欲しいです。でも昔の日本のハードコアのようなアツさも欲しいです。まだどちらも実現できてません。バンド外への関わり方としては、昔は僕らあまり他のバンドさんとつっこんだ付き合い方してこなかったので自分らの企画もちょっとブッキングみたいな感じになっちゃってたんですけど、今後はもっと人柄も踏まえてリスペクトできるバンドと一緒にやっていきたいです。知らないバンドをいきなり企画に誘う、とかはなるべく控えようと思います。逆に、知らない人から企画に誘われたらそれ自体はすごいうれしいですけど、なるべくある程度コミュニケートしてから返事するようにしたいです。でも内輪なのはイヤなんであくまでオープンな態度でいたい。

Y →進化ではなく、新化というなら他のバンドにはないような音が出せればなと。個人的にも特にボーカルの方をもっと力を入れていきたいです。

Yu →プログレッシブ。

■ AfterForeverが今、日本でリスペクトしているバンド等あれば教えて下さい。

S →FivekindssquareとENFOCEとEndzweck。音楽性はもちろんだけど、バンドに対する姿勢が尊敬です。バンド全員で一つに向かうってのは違う人間が集まってるからなかなか難しいことだと思うんですが、彼らは僕から見ると一つに向かってるように感じます。あとは内輪な感情をあまり持ってなさそうなので。すごくオープンだし。

Y →Fivekindssquare/ENFORCE。

Yu →WOMB。

■ 最後に何でも良いのでメッセージをお願いします。

S →12/29に下北沢ERAでGaugeMeansNothingと共同企画をします。全部で10バンド、おもしろいメンツになると思います。興味のある方是非遊びにきてください。

Y →HPで3rdデモの試聴ができますので、デモとか聴いたことがない人がいたら是非聴いてみてください。ファイルサイズの関係で3曲とも曲の一部しか聴けませんが、言葉でいうよりはこんなバンドなんだってのが伝わると思います。

■□ AfterForever Contact us … □■

Website → http://homepage2.nifty.com/afterforever/index.htm

e−mail → afterforeveryuki@hotmail.com

R3-N7

Inteview@2002/09/01/Sun/新神楽/(アンドロイドは電気羊の夢をみるか?)BullHeadPresents

■ メンバー紹介をお願いします。
「ウルテク！」「ウルウマ」（一同)。
ムロヤ(Ba/Vo) →(以下む)
サカイ(Gu/Vo) →(以下さ)
カワモリ(Gu) →(以下か)
タニムラ(Dr/bullheadinhuman) →(以下た)

■ 結成のいきさつは？結成してどれぐらいなの?

む →ジワジワって感じだね…。

■ R3ーN7ってバンド名の由来を教えて下さい。

む →ダンスユニット的な感じを出したいなと思った僕が独断で決めたよ。
か →意味なんてアメリカには存在しないしね。
た →簡単に言うとクイズみたいな感覚だよ。

■ 好きなバンドとか教えてよ！

一同 →金髪ロック！

■ 曲や歌詞はどんな感じで出来上がるの?

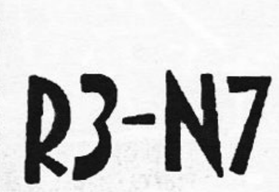
さ →特に決まってないしこれから先も決まらないだろね。

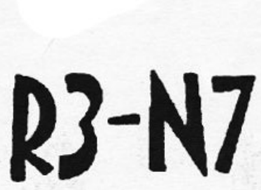
■ 印象的なステージをするけど心がけている事とかあるの?

む →90年代前半アメリカの金持ち馬鹿学生！簡単に言うと「悪乗り」かな
とにかくパブリーな感じだよ。
た →パティーだろ?
一同 →無言で親指を立てる。
さ →Jーラップとか適当具合がビンビンくるよ。
か →空手、忍者これ未満でも以上でも成り立たないね。

■ これから先どんな風に新化していくの?

さ →3ヶ月に一回ぐらいのペースがベストです。
か →誇張された物を目指すよ。
む →僕は放送作家とか最高だと思うよ。
た →割引券とか優待券貰えるぐらいの位置まで成り上がる！
さ →無理します！必要以上に。





R3-N7ATSINKAGURALIVE

■ これから先音源出す予定あるの?

た →まだ未定だけどブルレコから練習テープをドロップする予定だよ。

か →練習テープとかなんか良いだろ?聞いてて恥ずかしくなる感じのを。

さ →リアルじゃない事を表現したいね。

さ →アメリカ幻想説の証明！

■ 最後にメッセージを。

お →GO！GO！HEAVEN！皆でフワフワしよすげ～気持ちいからさ！

か →aikoマンて歌手が居るんですよ歌詞が全部マリファナの、次ぎもそんな感じで、

さ →ラジオ的な事をしてお願い！スイマセン言い過ぎました。ハイファイです！ソフトタッチ上々！

た →ブルレコからBULLHEAD(in human)の過去の音源を集めた物をリリースするからな買え！踊れ！
フォマットも次世代ボクCD－R2枚組だぜ。

一同 →今日はアリガトウ！一種のアートです。

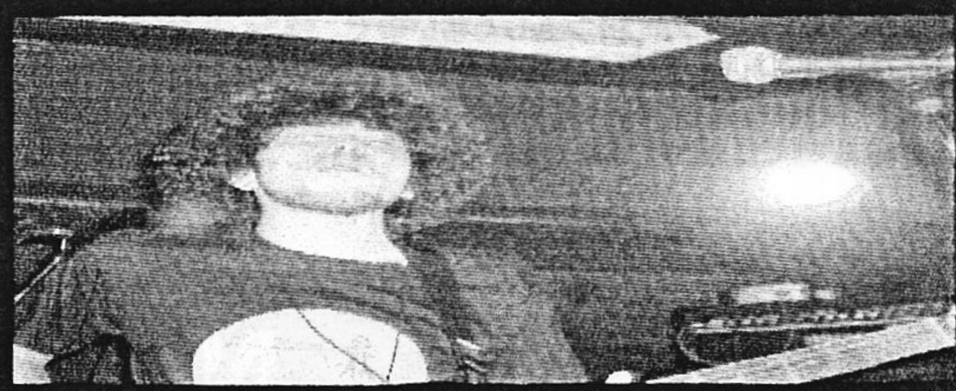
■□ R3－N7 Contact Us ・・・ □■

WebSite →http://www.h2.dion.ne.jp/~roseanna/

e－mail →roseanna@k4.dion.ne.jp

Tel →090－9996－6504

R3-N7R3-N7R3-N7R3-N7R3-N7R3-N7R3-N7R3-N7R3-N7



GaugeMeansNothing

Interview@Mail

■ メンバー紹介をお願いします。
ギターのポンチだよ(以下P)。
Vo&Bの笠沼裕一(以下Yu)です。名字だとよくいろいろ間違われるんで、下の名前で呼んでくれたらうれしいです。
ギターの栗田(以下K)です。
Voのたまおです(以下T)。
ギターシンセサイザー担当山本建太(以下Ya)です。
Yu →ドラムはいません。ヘルプで過去に在籍していたポンパーや、ENFORCEの太陽くんに叩いてもらってます。ドラム募集してます。
詳しいことはのちほど。

■ GaugeMeansNothingっていうバンド名の由来は?そしてどういう意味なんですか?
Yu →UNIONOFURANUSの〃FACEVALUE〃と言う曲の歌詞からとりました。意味は直訳したら「計器(メーターなどのゲージ)は何も意味しません」です。「計器」とはそれぞれみんなが持ってる「はかり」と捉え、その「はかり」による、誰々はこうだからとかの先入観、偏見などなしに同じ時間、場所、楽しみを共有していけたらとてもすばらしいなって意味が込められてます。でもUNIONOFURANUSの歌詞の中で実際にそういう意味で使われてるかはわからないです。

■ 影響を受けたバンド、あるいは好きなバンドでもよいので教えて下さい。
P →おいおい、もうその話しかよ!まずルナシーははずせないね。スギゾーのギタープレイは今だに影響を受け続けているよ。それにエックス、パクチクもはずせないね。ニルバーナには精神的影響をうけまくったよ。ロニサイズ、ltjbukem、エニフェックスツイン、bt、wayoutwestいいね。。激しく音楽を聞くキッカケはセパルトゥラだな。でもそこから突然グラインドに傾倒したんだけどね。最近よく聞くのは中島美嘉、キック、林原めぐみ、宇多田ヒカル、リリィシュシュ、より子。アイコ、ガーネットクロウ、ゾーン、柴田淳だね。もちろんハロプロ系も大好きさ!きりがないくらいいるなー。エモならsomesmollhope、hunchback、longballtonoone、dstolemybea、staple、bufferinsが気になるなぁ。おっとdavidsylvianを忘れるとこだった!彼は音に対する感性が素晴らしすぎるよ。mogwaiなんかが好きな人は聞いてみてくれ!gonetoearthというアルバムがいいよ。
Ya →envy、numbergirl、13月、たま。
K →X、BOSTON、QUEENSRYCHE、CARCASS、INFLAMES、FEARFACTORY、311、HI-STANDARD、m-fro、COCCO、atomosFear、bufferins、BUMBOFCHICKEN、STATECRAFT、envy、StandAlone、SHADOWSOFDISGUST、SunnyDayRealEstate、LovePsychedelico、宇多田ヒカル。
Yu →多分ぼくにとって好きなバンドと影響を受けたバンドって同じだと思います。はじめSTARCLUB、LAGHIN'NOSEに出会ってパンクロック、ハードコアパンクを聴くようになりました。BLANKEYJETCITYは昔本当に好きで、5thアルバムまでほぼ全曲ベースが弾けるくらい好きだった。SWITCHSTYLE、ENVYは初めて聴いたときからずっと今でも聴き続けてます。最近聴くのはYAGE、ASSISTANT、MADSON、UNIONYOUNGAMERICA、FUNALDINNER、REIZIGER、ANOMIE、IROBOT、PORTRAIT、UNDEROUTH、MINERAL、You&Iなどかな。あとやっぱり国内のバンドはかっこいいバンドが多い。特に周りって言うか、身近なバンドたちもすごくかっこよくてとても恵まれた環境にあると思う。
T →Endzweck、Thursday、ATTHEDRIVEIN、ANOMIE、ASSISTANTです。

■ 今まで出した音源、これから出す予定の音源等あれば教えて下さい。
Yu →今まで出した音源は2年前にSTANDALONE名義で出したデモテープと、SADARSと曇如(どちらも解散済み)と出したVATAPEがあります。これから出す予定の音源は自分たちの単独CD-R作品とKUrecordsから出るコンピレーションに1曲参加します。単独はCD-Rで出すけど、デモではなくて一つの作品として出す予定です。3か4曲入りになる予定です。コンピのほうは、WOMBのVoをやってるこうすけくんが立ち上げたレーベルから出ます。これもCD-Rです。収録バンドはENFORCE(東京)、Womb(千葉、東京)、OVERGREED(東京)、AFTERFOREVER(千葉)、EVILEYEEMPIRE(札幌)などです。

■ GaugeMeansNothingの曲、歌詞はどんな風に完成されていくんですか?完成までの過程を教えて下さい。
Yu →曲については誰かが持って来たリフなりフレーズなどからみんなでアレンジしてふくらませて完成させたり、ある程度完成したものを誰かが作ってくるときもあります。ぼくは一人じゃ曲は作れないです。ギター弾けないし。歌詞は今ライブでやってる曲は1曲を除いてぼくがほとんど書いてるんですけど、家でさあ書こうって自分を追いたてて書きます。何度も直すんで、1年以上経っても完成してなかったりすることもよくあります。
P →僕の場合、夕日が沈む時や、星を見ている時だな。空や海の色なんかの変化は人の感情の変化とよく似てると思うんだ。たとえばはっきりと形作れない感情のあいまいな所なんかは夕焼けの赤と夜の青が混じり合う所の白ともなんとも言えない色なんかとよく似てると思うんだ。だからその景色をできる限りそのままの形で音とゆうフィルターを通して表現しようと思ってる。でへっ。

■ どういう時に曲、歌詞が浮かんできますか？そして、どういうことを歌詞にしてるんですか?
Yu →ぼくの場合、そうやって浮かんだものはたいがいすぐ忘れたり、没になります。でもスタジオでみんなの作業中にアイデアが出てくるときもあります。歌詞は人と話したり、テレビのニュースを見たり、新聞を読んだりなどして思ったこと、普通の日常の生活を送って感じたことなどを書いてます。歌詞は個人的、あるいはそうでないものなどがあるんだけど、どれも全体的にネガティブな感じで、でもそのネガティブな状況を変えるにはどうしたらいいかとか、ただ悲観しているとかそんな内容です。ちなみに英語で歌ってます。今度出す音源には歌詞と訳をつけるのでよかったら読んでみて下さい。今後はライブでも歌詞を配ろうかと思ってます。

■ GaugeMeansNothingのライブは大阪と神戸でしか見た事ないんですけど…その中で質問したいと思います。皆、其々激しいステージングを展開されてると私は感じたんですが…ライブで心がけてる事とかありますか?
Ya →自分が気持ちよくあること。
T →そのときの感情を大事にするようにしています。あと人がいっぱいステージにいるので最初はみんなの位置とか注意しています。けど、途中で忘れてしまいます。
Yu →心がけてることはないです。そのときどきの自分のコンディション、感情などに任せてます。もちろんすごい暴れたらいいってもんでもないし、見てくれてる人にショックを与えてやろうとかそういうこともないし。普通にライブが始まるとああなるって感じです。でも自分の持てる全力を出し切って、一生懸命ライブに没頭することが出来たらそれはぼくにとっていいライブです。
P →ライブは音と体と心にまかせるって感じかなぁ。空回りしちゃう時もあるけど。特に無茶しようとかは考えてないよ。

■ また、関東の方でライブをしてる時も同じような展開でライブを行ってるんでしょうか?
K →GaugeMeansNothingには加入して4ヶ月くらい経ちますが、まだ一回しかライブをしてないので、自分ではどうだかまだ分らないですが、いままでのGaugeMeansNothingを見てる限り、関東も関西も関係なく良いライブをしていると思います。
Yu →ただ今まで関西でライブをやったときは、メンバーチェンジとかいろいろ事情があってその場限りのサポートメンバーに手伝ってもらったりして、本来の形態ではまだ一度もやってないですね。その意味では違ってるかも知れないですけど、他は何も変わりません。

Gauge Means Nothing

■ 神谷さんは小さくてあんなにパワフルな声を発するのが意外?なんですが…神谷さんのパワーみたいなのって何処から生まれてくるんですか?

T →とくに意識したことがなかったです。自分の中のもう一人の自分の感覚です。普段は意識できない場所にいます。普段は眠っている所のような気がします。その場所の自分の気持ちを思い出そうとすると苦しくなります。心の何か押し込められた感覚がある場所です。まいなすパワーです。

■ ギターシンセを導入しようと思ったキッカケって何ですか?バンドとしては珍しいと感じたんですが…。

Yu →とりあえずやっていくにつれて、キーボードっていうかシンセサイザーの音が欲しくなって。で、キーボードできる人間が周りにいなくて、ギターなら弾ける人かいるだろうってことで、それならギターシンセだなって。で、ギターシンセのやまけんが入りました。それが01年夏のことです。でも意外とギターシンセがいるバンドっていますよ。解散しちゃったけど、かねんいんかオブザーヴィングとか、Deepsea DriveMachineとか。

Ya →かねいんかオブザーヴィングすきです。

■ 私自身、6/22(Warpでの曲)がかなり好きなんですけど…、ボーカル、コーラスはどういう風に完成させていくんですか?

Yu →結構適当に、ここメロディ歌ってよとか、ここおれが歌うわとか(笑)。そんな感じです。で、それぞれが歌を考えてきてああいうふうになりました。歌もぼくの場合はライブのたびにメロディーラインが変わることが多いです。悪い意味ではなく、かなり適当です。

T →自分の歌うパートの所の歌詞をそれぞれが書いて、それにメロディをあわせる感じです。けど、そのやり方も今後は変わりそうです。

■ GaugeMeansNothingの企画は関東の方で何回か展開されていますが、企画をするにあたってどうやってバンドさんを見つけてくるんですか?また、今後企画をする時に出てもらいたいバンドさんがいれば教えて下さい。

Yu →なんでしょうね。デモや音源を聴いたり、ライブを見たり、対バンしたりとかで出会う感じですかね。まあ呼びたいバンドが集まったら企画をやるって感じですね。今後出てもらいたいバンドは、今のところ次回のぼくたちの単独での企画の予定が立ってないのでここで名前を出すのは控えさせてください。でもいくつかはいますよ。

■ 関東の方だけじゃなくて、関西の方でも企画してもらいたいんですけど(欲望)、関西の方での企画してみたい！等の野望とかありますか?

T →はい。いろんなところに行ってたくさんのバンドと一緒にやってみたいです。

Yu →関西で企画ですか?う～ん、現実的に考えてやっぱりぼくたちメンバー全員今は関東に住んでるんで、それは難しいでしょうね。例えばフライヤーなどの告知とか、ライブハウスにしてもどこに何があるかもわからないし。だれか関西で協力してくれる人がいればわからないですけど…。それに今のところ東京で企画やっても赤字だから(笑)、関西で企画やっても今のままの自分たちじゃだめでしょうね。でもぼく個人の考えとしては関西などのバンドと合同で例えば東名阪ツアーを計画して、その一環で関西で企画ってことならありうるかもしれませんね。企画についてはそんな感じですが、ツアーでは各地に行きたいと常に思ってます。海外も行きたいです。

P →野望はEVANGELIONを超える美しい曲を作る事かな。

■ 最後に何でもいいのでメッセージをお願いします。

Yu →インタビューしてくれて本当にありがとうございます。それと今までライブに来てくれたお客さん、一緒にライブをやったバンドのみなさん、やらせてもらってるライブハウス、スタジオのみなさん、昔デモをディストロしてくれたみなさん、多くの友だち、そして過去に在籍していたメンバー、あらゆる形でぼくたちに関わってくれたみなさんに本当に感謝してます。ありがとう。

T →音楽を通していろんな人と仲良くなったりできることがすばらしいなって感じます。日本人もそうだし、他の国の人も同じように仲良しになれる気がします。他人と音楽で心が通じ合えるになれる瞬間をもつことができるって本当にすてき。音楽は一つのきっかけだけど、そういうふうに心が通じ合って、ケンカとか戦争とかなくなったらいいな。って思います。

P →まぁ、よくいろんな事言う人がいるけどジャンルは目に見えやすいための記号だと僕は思う。そういう概念がなかったらなんだかんだと僕は不便におもうから。みみっちい事言えばCDを探すのが大変だしね。けど結局は自分がその曲をいいと思うかそうでないかだからそんな事どうでもいいんだけど。とりあえず音を楽しめたらスタンスとかどうでもいいんじゃないのかなぁ?楽しむ為の物であれこれトゲトゲするのも本末転倒だしね。つまらないこと長々とすいませんでした。ありがとうございました!

Ya →メンバーチェンジが激しいバンドですけど基本的な表現しようとしていることは変わっちゃいないと思ってます。それを率直に、生の状態で伝えられるのがライブなので、ライブを見に来てくれるとうれしいです。

K →僕は、GaugeMeansNothingとは、前身のSTANDALONEの頃からの知りあいです。僕は、あまり好んでライブを見に行かないのですが、彼らのライブには友達としてだけじゃなく、純粋に行きたくて見に行ってました。GaugeMeansNothingらしさというものを自分なりに感じながら今まで見てきました。GaugeMeansNothingらしさって何でしょう?僕の解釈では、「無添加で飾らないストレートさ」だと思います。今は、メンバーが流動的で、なかなか気持ちがまとまらない場面が多いけれど、その「GaugeMeansNothingらしさ」ってものを忘れずにみんな一体になって楽しめる状況にして行きたいなと思ってます。

Yu →もし、ぼくたちに興味持ってくれた人がいたら、ライブや、近々出る予定の音源などでぼくたちに触れてみてください。メールや手紙なども気軽にください。バンド名変わったりとか、メンバー代わったりとかいろいろあるけど、これからもがんばります。最後まで読んでくれてどうもありがとうございました。

■□ SHOWS □■

10/18(金) 横須賀かぼちゃ屋　11/9(土) 京都ウーピーズ　12/29(日) 下北沢エラ (AfterForever&GaugeMeansNothing企画)

■□ ドラム募集してます!! □■

gaugemeansnothingではドラムを募集しています。練習は週一回都内のスタジオでやってます。ぼくたちの好きなバンドなどは上記を参考にしてください。興味のある方、気軽に連絡ください。よろしくお願いします。

■□ GaugeMeansNothing Contact Us □■

WebSite → http://www5d.biglobe.ne.jp/~gauge/
e-mail → gauge_means_nothing@hotmail.com
〒 333－0865 埼玉県川口市伊刈567－12
笠沼 裕一

...GaugeMeansNothing...

S41 =SpringIn41=

Interview@2002/09/04/Wed/AmericamuraPipe69

■ メンバー紹介をお願いします。

田和(以下T) →ドラムの田和です。
小椋(以下O) →ベースの小椋です。
槙野(以下M) →ギターの槙野です。

■ S41ってバンド名の由来は？そしてどういう意味なんですか？

T →「元祖天才バカボン」のエンディングテーマの♪41歳の春だから～♪から取りました。
別に意味はないです。

■ 影響を受けたバンドは？

M →Botch, Dillingerescapeplan, Converge, Burntbythesun, etc。
最近よく聞いてるんはPlayingenemy, Hopesfall, Crossmyheart, Asthesunsetsです。

O →400Yearsが好きです。

T →影響を受けたというか好きなバンドは、Deadkennedys, Swarm, Overcast, You&i,
Sutekconspiracy, Serotonin, Gutspie, Isis, Earshot,
初期トースト、他にも好きなバンドはいっぱいあります。

■ 曲・詞はどんな風に作ってるんですか？どういうことを歌ってるんですか？

O →曲はほぼ完成形まで一人で作って、テープに録ったものをメンバーに聞かせるという感じです。
歌詞に関しては、実は殆ど決まってなくて、テキトーに叫んでます。最近作った曲には歌詞
載せてるけど、まあマトモな内容ではないです。試行錯誤中ということで許して下さい。

■ これまでの音源・これからリリースする予定の音源等あれば教えて下さい。

T →無料のデモテープが一本出てます。9月にまた新しいデモ録ります。

■ S41は自分達にとって何ですか？

O →自分達にとって何なのかというのはあまり考えたことないですけど、メンバー同士が昔からの
友達で、コピーバンドからずっと一緒にやって遊んでたから、今も意識的にはそのままです。
他の二人がどう思ってるかはわからんけど。

M →まあ僕にとっては趣味感覚で楽しくやってます。

T →おもしろいから、無理せずマイペースで適当にやってます。

■ これからのS41はどんな風に新化していきたいですか？

T →もっとバカに。

O →中途半端なままでいたい。

M →虫のように(笑)。

■ 人にS41ってバンドを説明する時にどんなバンドって説明したら良い？

T →セクシーバイオレンスアタックでお願いします!!

■ 地元和歌山での企画を実行しようと思ったキッカケは？

O →まず第一に自分達がライブやりたかったから。和歌山はバンドの数も少なくて、ライブ企画も
あまりないんです。こうなったら自分達でやるしかないと。

■ 私の周りでは結構？S41評判よくて…(日本には珍しいバンドだ!)とか言われてるんやけど
メンバーの皆の拘り？みたいなのってありますか？

O →拘りはないです。「素人がムチャクチャやってる」というのが珍しいんじゃないかなと思ってます。

M →僕も特に拘りはないです。でも確かに日本では珍しい音だと思います。

T →気持ち悪く、おもしろく、バカに。

SpringIn 41 S41 SpringIn 41 S41 SpringIn 41

S41=SpringIn41=Members...

■ 田和君は(VjyDistro)をしてるけどDistroをしようと思ったキッカケって何ですか？
田和君のDistroは私的にハズレがないんですけど…どういう風に見つけてくるんですか？

T →きっかけはおもしろそうやし、友達できるかなーと思って。友達めちゃくちゃ少ないんで(笑)。
で、主にレーベルのHPとか、海外の大きなディストロのレビューとかで探してます。
あんまどこにも売ってないような、バンドとかを意識して探してます。そっちの方がやってておもしろいんで。

■ 最後に何でもいいのでメッセージを下さい。

O →S41はまともに活動をはじめてまだ1年足らずなので、長い目で見てやってください。

M →とりあえずライブもっとカッコよくなりたいです(笑)。

T →色んな所でライブやりたいので誘って下さーい。インタビューありがとうございました。
これからも適当にやっていくんでよろしくお願いします。

■□ S41 Contact Us … □■

HP → http://members.tripod.co.jp/aditatsu/index.htm

mailto → aditatsu@plam.plala.or.jp

〒 640 － 8327

和歌山県和歌山市橋向丁40

田和　竜弘

S41@Pipe69Live...

はたらくひとたち

★いんとろだくしょん

こんにちは。はじめまして。
ぼくは東京でGauge means nothingというバンドをやっている笠沼裕一と言います。今回このWE ARE OFF!!に発行者のかよさんのご好意でページをいただきました。何を書こうか迷ったんですが、今回は「はたらくひとたち」というテーマで書くことにしました。ぼくは大学を卒業してから某パソコン会社のユーザーサポートセンターで働いていたんですが、とある事情で退職してからはや数ヶ月、いまだ無職です。再就職活動もしているんですがなかなか決まらず、面接も落ちまくりです。そんなぼくにとって現在もっとも大きな関心事である「仕事」についてぼくの友人2人に話しを聞いてみました。インタビューを受けてくれたごうくん(DECIDE, PALUKA, CHESTNUT, SOL DISTRIBUTION)、てけろくん(womb)、一緒にインタビューしてくれた＆このページのデザインをしてくれた龍崎くん(WE ARE OF ONE MIND ABOUT THE MATTER)、ページを提供していただいたかよさん(WE ARE OFF!!)、そしてこの文を読んでくれている方に心から感謝します。ありがとうございます。

★てけろくんいんたびゅう　目黒甘太郎 | 9月8日

笠沼裕一(以下Y)：じゃあまず自己紹介をお願いします。
てけろ(以下T)：あ、えっと・・・林たかひろ。〇〇市経済部公営事業事務所総務係兼　明治大学経営学部兼　wombギターです。よろしくお願いします(笑)。
Y：よろしくお願いします(笑)。とりあえず今やってる仕事は何ですか？
T：えっと、今は〇〇市役所の競輪事業の経理を担当していて・・・(笑)。予算の管理とか給料の計算とかそういうことをしています。
Y：仕事始めてどのくらいですか？
T：えっと、半年弱です。
Y：えーっと、今は林くんは学生もやりつつ働いてるってことなんですけど、それは一応なんていうか、正社員って言うか正式な形で雇用されてるんですか？
T：一応、うん。正社員なんですけど、一応大学通いながら、高卒待遇の公務員。
Y：じゃあ中級(公務員試験)？
T：中級は短大なんで、初級です。
Y：なるほど。学校と仕事との両立ってのはどんな感じなんですか？
T：それは・・・とりあえず有休は自由に取れる感じなんで、とりあえずまだ半年なんですけど、そのところは一応予定通りいってます。
Y：有休は半年勤務して何日もらってるんですか？
T：えっと4月から1月まで15日で、また1月から1年間分20日もらえます。で、半休って言う制度があって、0.5日(半日)で取ることも出来るんで、とりあえず大学に行くときはそれは重宝してる。
Y：じゃあ午前中仕事行って、午後から授業受けてるって言う・・・。
T：大学に行くとか行って、ライブをリハーサルから出たりも出来る。
Y：それは例えば両親とかはそれについては納得してる？
T：うん、一応大学に行くことは了承の上で採用されたんで大丈夫。
Y：じゃあ同じ職場で同じように学校通いつつ、仕事してる人っている？
T：それは多分俺が初めてだと思う。みんな初めて聞いたって言うんで。
Y：確かに。しかもそれでいて公務員ってあまり例がないと思うんですけど。
T：落ちると思って受けたんすけど。言ってみるもんだなあと(笑)。
Y：それは初めから学校に通いつつ、仕事をするんだって言う目的のもとで受けたんですか？
T：とりあえず・・・バンドやってて普通の民間で仕事をしてると残業とかやっぱあるもんだし、バンド出来なくなるかなあとか、それからいろいろ・・・映画見たり本読んだりもしたくて・・・。とりあえず残業ないところがいいなあと思って。それには公務員が一番いいかなあと思って。でもやっぱ公務員ってすごい人気で、上級とか中級とかすごい難しいんで・・・ちょっといろいろあったんですけど、初級は大卒は受けらんないって言うのがあって。初級で入れるもんなら入ってしまおうかなと。また受けなおしも出来るし。
Y：で、実際仕事してみて残業とかどうですか？
T：残業はバリバリありますね(笑)。で、有休取れるのも慰労日だったから。時間の自由としてはすごいきくんだけど、働く時間が普通の民間の人より多いんで、そこは考えてたのと違った点ですね。
Y：働く時間が多いって言うのは？
T：うーん、だから平日の残業はないんだけど、競輪って土日もやってるんで、土日も行かなきゃしょうがないんで。そこが痛いっすね。
Y：なるほど。じゃあだいたい何時出勤、何時終業って感じなんですか？
T：えっと、午前8時45分から午後5時15分って就業時間が決まってて、で、まあ本当に勤務するのは午前8時半から午後5時半。まあ予定通り。
Y：で、平日は残業がなく、そのまま帰れて、土日だと残業はどうですか？
T：土日はだから同じように午前8時45分時から午後5時15分で。
Y：じゃあ民間で言う残業って言うのはあんまりない？
T：うん。それはあんまりないっすね。まだ一回もやったことがない。
Y：じゃあ一応定時かそれくらいには・・・。
T：遅くて午後6時くらいには。それで一応有休もとれてるんで、バンドがやりたくて公務員になったって言う目的は果たせたけど・・・、思ってたよりは厳しかった。
Y：まあ、厳しかったって言うにしても、だからって辞めるって言うほどではない感じ？
T：うーん・・・とりあえず月休み3日って月もあって、それはきついなあとか思ったけど。もっといい民間もあるだろうと思って、今大学4年だから今仕事辞めちゃえば民間も受けられるじゃないですか。とりあえず辞めようと思ったんだけど・・・まあある上司に説得されて(笑)。「いろいろあるだろう」みたいに(笑)。それで説得されたって言うか・・・多分民間で辞めたいって言うやつがいたら普通に辞めさせられてるだろうけど、やっぱ結構人間が出来てる上司で。すごい尊敬してますね。
Y：じゃあ周りの環境とか職場の環境には・・・。
T：結構満足してます。
Y： 不満って言う不満はありますか？例えば業務上のとか。
T：業務上のはないですね。とりあえず土日の出勤さえなければ。
Y：でも代わりに平日休めるんだよね。
T：は、ないんですよ。
Y：あれ？じゃあ休みって言うのは基本的に有休のみ？道理でそんなに多いんだ。
T：だから残業ないって言っても土日の分が全部残業になるから、月50時間くらい残業になりますね。
Y：残業代は出るの？
T：残業代は一応出るけど。
Y：なるほど。じゃあ残業代と休みはどっちが欲しいですか？
T：うーん、やっぱお金欲しくて公務員になったわけじゃないんで休み欲しいですね。
Y：じゃあぶっちゃけ月収はいくらくらいですか？
T：月収は手取り26万くらいです。
Y：ええ！？かなりすごくないすか！？
T：土日の勤務が結構かなりイロつけて残業代出るんで。
Y：公務員なのにそんな！？
T：とりあえず予想より10万円多かったです(笑)。
Y：多い、多い。それでいてボーナスとかは・・・。
T：ボーナスは一応出ますよ。
Y：じゃあボーナスはどれくらいなんですか？
T：8月は手取り17万。
Y：ボーナスだけで17万？
T：そうですね。
Y：じゃあ普通の給料も合わせて・・・。
T：そうです。
Y：今までの生活と、仕事始めてからの暮らしを比べてどうですか？
T：でもお金もらっても使う暇がないんでそんなによさは感じてないっすね。
Y：じゃあ結構貯金がたまっていくとか・・・。
T：そんな感じですね。
Y：じゃあさっき手取りが26万って言ってたんですけど、えーと基本給はいくらなんですか？
T：基本給は19万です。結構いいかも知れない。
Y：公務員の試験って言うのは初級、中級、上級ってあって、一般に上級はキャリア組みって言う漠然としたイメージがあるんですけど・・・。
T：あるんですけど、実際のところはあまり変わんないですよ。思ってたほどの差別はなかったです。
Y：わかりました。結局は仕事の不満とかは特にないってことなんですけど、仕事やってく上でやりづらいなあとか、自分の意思ではないけど、やりたくない仕事とか、例えば経理だと不正の揉み消しとかあったりするんですか？
T：うーんと・・・。正直いろいろあります(笑)。うーんとね、とりあえず競輪事情って言うのは市の一般会計に繰り出し金を出さなきゃいけないんだけど、予算会計上では一応出してるんだけど、売上げが予定で出してるより全然低いんで、実際は出してないんで、本当はつぶれてなきゃいけないはずなんだけど、ちょっといろいろな形で市に援助してもらって存続させてる状態で、それが別にいやってことじゃないんだけど、まあちょっといろいろ苦労することが多いんで・・・、なんて言ったらいいんだろう。裏操作はいろいろしてますけど、それは別にやりたくてやってるわけじゃないからそれが・・・。いろいろデータとか改ざんしてるとか。
Y：やっぱり競輪とかそういう公営のギャンブルとか儲かってないんですか？
T：バブルのときは儲かってたけど、今どこも赤字経営です、実際は。
Y：昔はすごい売上げが・・・。例えばバブル期のときは・・・。
T：そのときはすごい。職員も倍いて、仕事量も今の1/10だし、そのときの職員は結構楽してたなあって思う。だから昔の人の何倍も仕事やってんだ、俺って。だから昔の人は土日仕事行っても平日振替え出来るほど仕事が少なかった。
Y：それ以外には特に不満とかは？
T：うーん、そうですね。あとは残業が多いこと。それが一番(の不満)。
Y：本来土日ってのは休みなんだよね？
T：しかも俺労働基準法に違反してるほど働いてるんで、役所なのに。
Y：なるほど。じゃあ次の質問に。仕事をやっててよかったなあとか、役に立ってるなあとか実感するときってありますか？
T：実感するとき？(しばし考えて)・・・一応この競輪場ってすごいつぶれそうな状態で、俺たちがすごいがんばってるおかげで続いてて。残業いっぱいしてがんばってるおかげで。うちの競輪場でおばちゃんたち500人くらい働いてるんですけど、その人たちがおれたちが「こんなんもう辞めだー」って言って辞めたらクビになっちゃうって言うか、失業しちゃうし・・・。いろいろ市役所の事業って言うのは地元の中小企業いっぱい使ってるんで、俺たちが苦労してるおかげでその人たちが食えてるのかなあと。それは結構大切な仕事だなあって。
Y：どっちかって言うと使命感？
T：うん・・・。
Y：さっき中小企業をいっぱい使ってるって言ってたけど、それは具体的にはどういう・・・。
T：えーっと、入札のときにうちの事業はすごい特殊な事業がいっぱいあるんで、いろいろ特定できる人しか選べないところが多くて、一般入札って形で広く一般公募する事業って言うのは少なくて、こっちで業者選べる事業が結構あって、随意契約って言うんですけど。それでうちの〇〇市役所の規定で地元の中小業者を優先することって規定があって、条例で決まってて。委託とか事業とか頼むときは中小企業を優先する。
Y：事業って言うのは具体的にはどういう事業？
T：だから普通に・・・事業って言うほどでもないけど競輪施設の改修、改善とか、あといろいろ案内業務の委託とか、あとホームページ作ったりいろいろ委託事業とかあと場内施設管理。
Y：それらの委託などは地元の中小企業の活性化につながってるって言う実感はありますか？
T：実感は特にないすけど、とりあえず辞めたらその人たちは職がなくなるのは目に見えてるんで、辞めたときのつらさって言うか・・・、何十年も競輪の事業しかやってない業者とかあるんで。
Y：わかりました。じゃあ次の質問に・・・。さっきはバンドやるための手段として公務員を選択したって言うようなことを聞いたんですけど、実際それは今のところは出来てますか？
T：今のところはやれてる・・・感じです。
Y：じゃあバンドの活動的にはどんなペースなんですか？
T：活動・・・(笑)。まあ今までどおりなんですけど、月1、2回のライブは一応こなせてるかなあと言う感じです。
Y：練習は月にどのくらいなんですか？
T：とりあえずみんな家が離れてるんでそんないっぱい出来るわけでもないです。
Y：離れてるって言うとどのくらい離れてるんですか？
T：えーっと、一人が日本最東端の銚子に住んでて、一人が東京の最西端の八王子に住んでて、まあそんな感じです。
Y：じゃあそんな遠い人たちが練習する場所はどの辺なんですか？
T：えっと、お茶の水とか新宿です。
Y：お茶の水で練習って言うのはメンバーの人が明治大学とかそんなことは関係あるんですか？
T：一応そこは関係ないんですけど、なじみのある町で集まりやすいって言うのが。
Y：なるほど。ちなみにメンバーの人はそれぞれ学生なんですか？
T：俺とVoとDrの三人が学生で、一人が洋服屋の販売員やってて、もう一人が・・・何もやってない(笑)、フリーター(笑)。
Y：じゃあ予定とかみんな合わせるのとか大変ですか？
T：もう大変ですねえ。
Y：じゃあバンドとしてはライブについてはどういう風に考えてますか？例えばなるべく断りたくないからライブ優先でいこうとか、あるいは仕事がやっぱり優先で、ライブは出来る範囲でしかやらないとか、別にライブのために仕事を休みをとろうっていうのはないとか、その辺はどうですか？
T：えーっとね、みんな働いてる時間帯がバラバラなんで、誰かが無理しなきゃいけないんで、ライブやるときは。一応それはやっぱりライブ優先だけど・・・。
Y：それは林くんもやっぱりそう？
T：うん・・・。
Y：それはバンドのことを考えてって感じですか？それとも自分がやりたいから？
T：あー、それは難しい・・・。どうなんだろう・・・。うーん・・・。両方って言えば両方だけど・・・。どっちかって言うのは・・・。
Y：自分がやりたいって言うのがあって、それがバンドとしての意思でもあってって感じ？それともみんながやりたいって言うから「じゃあ俺も合わせようかな」って感じ？
T：それもあるし・・・。ライブやりたくなかったら仕事休んでまでってのはないと思うし・・・。
Y：じゃあ仮にバンドと仕事って言うのをはかりにかけた場合、自分の中の生活とかそういう諸々を含めた上で、優先順位を置くとしたらどっちですか？
T：あ～、とりあえず仕事はお金もらってるんで、とりあえず自分がやらなきゃいけない仕事はそれは優先しますけど、別に俺が有休とってライブ行くことで別に自分の仕事に差し支えがないなら、全然それは休み取ってって言う感じですね。
Y：じゃあ結構仕事を無理してやんなくてもいいっていうか、仕事が休めないとか抜け出せないとかそんなことない、余裕がある感じ？
T：やることだけやってれば。
Y：で、今のところそのやることって言うのはやれてて・・・。
T：うーん、そうですね。今のところですけど。
Y：じゃあ今のところ、どっちかに支障が出たことはないってことですか？
T：うん、そうですね。まあバンドに関しては今まで通りってわけにはいかないけど・・・。まったくライブが出来ないことになることもない。
Y：それほど活動ペースに大きな支障もないし、メンバーの理解もある？
T：最初っからそんなに一生懸命って言うか・・・毎週練習やったり、そんながっちりやってるバンドでもなかったんで。
Y：じゃあバンドと仕事をやってく上で、耐えられないとかどっちか辞めないと続けられないとかそんな選択を考えたことはありますか？
T：あ～・・・。それは・・・あります・・・ね、うん。
Y：それはどういう状況だったんですか？
T：(笑)ノーコメントで(笑)。
Y：(笑)じゃあ最後の質問に行こうかと思うんですが、てけろくん自身は自分自身あるいはバンドのことをパンクロックだとか、ハードコアパンクだとは思いますか？
T：それはやっぱありますね。
Y：それでいわゆるパンクロックとかハードコアパンクって、反社会的とか例えばアナーコパンクとかがあるくらい反社会的な考えを持っていたりするバンドが多いと思うんですけど、それでいて公務員って言う職業を選んだことについてはどう言う風に考えてますか？
T：えっと、パンクの中でも「何をもって反社会的なのか」っていうのが・・・。反社会的である前にやっぱ世の中を今よりよくしたいって言うのがあると思うんですけど、それで今の政治とか社会がいやだから変えようって言うので反社会的だと思うんですよ。パンクが反社会的なものだっていうのがイコールで結びついちゃったらそんなのは普通に様式美って言うか、そんなのは別に意味がないことだと思うんで。俺の中でパンクはそういうもんじゃないんで。社会をよくしていくためには自分が変えるしかないと思うんで、公務員ってそういう意味ですごい一番変えられる立場にいると思う。
Y：なるほど。一般的なイメージとしてパンクロックとかそういう風に捉えられてるとぼくは思うんですけど、短絡的に考えて。ちゃんと深く知ればそんなことはないってすぐにわかるんですけど、一般的なイメージとしてそういうのがあると思ったんでそういうことを聞いたんです。それでまあそういう答えが聞けてよかったなと思います(笑)。それじゃ最後にこれだけは言っておきたいとか一言ありますか？宣伝でもいいんで(笑)。
T：宣伝ない(笑)。
Y：競輪来て下さいとか(笑)。
T：えー(笑)！？
Y：龍崎くん来なかったねとか(笑)。
T：(笑)どうしよう。あとでメールで送るとかだめですか(笑)？
Y：わかりました。後でメールで(笑)。本日はどうもありがとうございました。
T：ありがとうございました。

後日てけろくんからはメールは来ませんでした(涙)。

★なかむらごういんたびゅう　国立養老の滝 | 9月9日

Y：じゃあ自己紹介からまずお願いします。
中村豪(以下G)：えっと～、中村豪24歳。(昭和)52年生まれ(笑)。男。
Y：じゃあまず現在の職業を教えてください。
G：職業は機械設計。
Y：機械設計って言うと具体的にはどんなかんじなんですか？
G：主にやってんのは車の関係の。なんて言えばいいのかな、車を作るときのプレスする工場の機械の設計。車のボディが決まったあとにそれを作るのにどうするかっていう機械を設計する感じかな。
Y：なるほど。それはさっき(インタビュー前に)聞いたように実家でやってるの？
G：うん、実家で。実家って言うか、まあ自営の。
Y：じゃあ豪くんがこの仕事始める前はお父さんだけでやってたの？
G：あと二人社員が(いる)。
Y：その仕事を始めてどのくらい？
G：3, 4年くらい。まあもうすぐつぶれそうな零細企業。
Y：あ、ああ～(汗)。なるほど・・・(苦笑)。
G：あんまり笑えない状況・・・、って言う・・・。
Y：じゃあぶっちゃけ収入はいくらですか？
G：いやあー、それはやめとこうよ。少ないんだよ、本当に。年齢から考えたら。
Y：あーそんななんだ・・・。
G：家でやってるからまあそれは多少は。あと俺が全然そういう仕事できないから、結局パソコン関係とかのサポートに回ってるだけだから。技術は全然。設計の技術がないから。ま、それは仕方ない。
Y：じゃあ設計自体は特にしてない？
G：うーんと、ほとんど仕事の、例えばうち(会社)に俺以外の三人いて、フリーに近い状態で一人ずつ仕事を受けてるから、まあ俺は仕事を(仕事を)受けらんないからほとんど。ま、すごい簡単なのだけ(受け

る)。あとはもうみんなのサポート。ホントに(社員が)おっさんだからデータのやりとりなんかが全然出来なくて、俺が全部やってる。
Y：じゃあその設計っていうのはパソコン使わないで図面書いたりとかそういう設計？
G：えーと、俺は出来ないんだけど、まあ元々うちの親父とかそれでやってるんだけど、今はもう世の中的にそういうのが受け入れられないから、全然もうパソコンじゃないとだめで。
Y：それを代わりに、そういうことをやってるの？
G：いや、強制的に覚えてるんだけど・・・。
Y：じゃあ、その図面自分じゃ書いてなくって・・・。
G：まあ、だからサポートしてるぐらい？
Y：じゃあ今は実際に設計を書く勉強とかはしてる？
G：してないしてない。やる気もない(一同笑)。
Y：え、じゃああの、なんていうかその、今の職って言うか実家の仕事の手伝いしてるのは成り行きって感じ？
G：あのね、だから・・・その、いわゆる手で書く図面がだめになったから、それで俺がやんないと本当どうしようもなくなっちゃって。やらないなら出てけって(笑)。そういう感じになったから。
龍崎隆之(以下R)：パソコン使える人がいないと・・・。
G：そう、話しにならなかった。だから俺は別にその、設計のソフトを勉強したわけじゃないんだけど、でもまあいじくるの好きだから。一通り操作を覚えたあと、今は三人のおっさんたちに教えてる感じ。
Y：休みは土日って感じで？
G：土日休み。ていうかまあ出てけって言われて、俺の条件的にはバンドが思うように出来なかったらやらないよって。まあ最低限土日は。
Y：じゃあこの間のCHETNUTの企画(8月30日 西荻窪WATTS)が金曜にやったときは仕事は休みにしてあれに行ったの？
G：そのときは午前中仕事して、一応そのあとは(仕事を休んだ)。で、翌日はちょっと夕方帰ってからちょっと仕事したかな。ま、家でやってる分いつでも仕事できるから、例えば今仕事があればこれ(インタビュー)が終わってから帰って仕事をするとか、夜中やったりとか。
Y：じゃあ基本的には何時出勤、何時退社って言うのはある？
G：一応決まってるのは9時出勤、7時半が最終ラインだけど、忙しければ夜中までだし。ま、でも役を離れても7時半まではとりあえずいて、今日は昨日夜中出てたから5時くらいから俺一人で(仕事をした)。一人しかいなくて、みんな出ちゃって。あとはぐだぐだと。ネットやったり(一同笑)。メールを書いたりとか。あ、だから楽なのは家で例えばディストロのオーダーのメールを受け取れて、ま、仕事忙しくなければそのまま返事書けるし、在庫も普通に自分の部屋に戻れば。あと、あれかな、ディストロとかの発送がまあ仕事が暇なら合間見て、いつもお茶の時間が4時くらいに(あるから)、その時間で市役所に・・・郵便局にいつも行く。
Y：なるほど。じゃあ仕事の合間にそういうメールオーダーとかの依頼が来てもこなせるから結構環境としてはいいっていう・・・。
G：融通はきいてるけどね。
Y：バンドの都合もつくし。
G：多少はね。まあでも練習のあと仕事とかやっぱ嫌だけどね。
Y：あ、そういうことがあるの？
G：あるね。
Y：練習が例えば何時まであったあとにって？
G：練習は基本的に9時以降。ま、2時間やって・・・、で帰って仕事とか。
Y：仕事は一人で？
G：一人でのときもあるし、昨日なんかはみんないたし。
Y：そうなんだ。じゃあなんか今の仕事にこう・・・満足って言うか、やってて人の役に立ってるなあとかそう言うのはある？
G：(即答で)ない(笑)。正直自分のだめさ加減しか見えないから。
Y：やってて満たされる部分って言うのはないの？
G：(再び即答で)ない。もう・・・変な話し、バンドをやりたいって思ってから仕事はもう別で、バンドをやるために仕事をしてるって意識があるから。特に今の仕事は自分的にすごい、あんま好きじゃない仕事だから。まあただそれは結構複雑なんだけど、あのー、やっぱ実家じゃない。で、例えば俺がやんなくてつぶれるとかなったら・・・、したら俺にも実害来るし(笑)、家族的にも来るし、だからそうなっちゃうと、それは考えないわけにはいかないからさ。だからまあ、仕事探すとかとりあえず考えちゃいけない部分。
Y：ああ、なるほど・・・。
G：例えば他で仕事してんだったらね、気に入らないなら辞めればいいんだけど。
Y：でもそれができないから、辞めたらやばいみたいな・・・感じ？じゃ、豪くんのほかに別の社員を雇うとかそういうことはないの？あるいは豪くんって一人っ子？
G：あ、俺はお姉ちゃん。
Y：お姉ちゃんが仕事をやるとかそういうことはないの？
G：うーん、それはないね。
Y：じゃ、もう本当に仕事に自分を賭けるだけあるとかさあ、そういう意識ではやってない？
G：うーん、それだったら多分・・・、バンドがある程度どうでもいいと思えることになってると思う、本当にやりたいことやったら。
Y：じゃあバンドのほうがもう全然優先順位として高い？
G：今はとりあえずね、やっぱり。そのためにこんな仕事をしてる。
Y：そうでなかったらやってない？
G：やっぱり・・・自分でもっと出来ること考えたらもっと給料いいところとか探せるから。それはまあ家族、家族って言うか親を見離せば(出来る)。
Y：なるほど・・・。かなり興味深い話し聞けてるんだけど(笑)。
G：いやあ、興味深くないでしょ、別に。なんだかんだ言って立場的に偉そうな感じだけど。でもさっき言ったみたく、本当は俺がちゃんと仕事を覚えれば、自分の仕事を取れるわけじゃない？そしたら負担は会社的に軽くなるんだけど、それができないあたりがかなり俺がだめなところ。
Y：さっきだめな自分が見えるって言ってたのはそういうこと？
G：すごいだめ。空き時間あったら、勉強すりゃいいんだけどー、勉強しないから(笑)。
Y：じゃあ仕事に対して責任は持ってないっていうようなことを言ってたけど、それは「じゃあがんばろう」とか「勉強しよう」とかそういのはある？
G：一応思うけど・・・。あの・・・個人個人でとってる仕事だから、結局。やっぱり覚えるのに時間がかかりすぎる。だからなかなか覚えられない、覚えることもちょっと多すぎて。
Y：とりあえず経営が思わしくないようなんだけど・・・。
G：でもね、今どこもそういうとこ多いと思うからね。正直自営は大変だと思うよ。基本的に社長なんかさ、ボーナス出ないし、もう零細企業だったら給料なんか低いからね。(社長は)給料ないようなもんじゃん。俺より低いよ、使う額(給料)は。もう借金が多い。入金が少なくても、給料は払わなくちゃいけない立場だから・・・。
Y：そっか～。じゃあ本当結構大変だなあ。
G：まあちょっと、アレかな。(自営業が)楽だなって思ってる人にはそれはちょっと知って欲しいかな。
Y：なるほど(笑)。よくわかりました(笑)。じゃあ家がそんな状態だと土日に家にいてもあんまり気が休まんないとかそういう感じ？
G：ま、土日は家にいないから(笑)。あ、でもそういう意味じゃうちの親父に感謝してる部分あって。すごい気を使ってくれてるんだよね。
Y：じゃあ有給とかはあるの？
G：基本的にはないけど。夏休みとか(ならとれる)。
Y：それは他の働いてる社員のひともそういう感じ？
G：まあ普通に夏休みとか。結局フリーに近いじゃない？一人一人の仕事でとってるから。(仕事が)終わってればある程度取れるけど。(しばし沈黙)・・・まあ小さい会社はつらいんですよ(笑)。
Y：うーん、昨日話し聞いてきた人は公務員の人だったから、まあまったく逆って感じなんだけど。
G：まあそうだね。それこそ融通きかないけど決まってるからね。
Y：残業代は出る？
G：いや、もちろんないよ(笑)。だって規定時間はないからさ。
Y：そんなに仕事あんまりやりたくないってことだけど、それでもやるのはバンドがあるからってこと？
G：バンドがあるからって言うか・・・どうだろう、バンドがあるからかなあ。まあもちろん今はバンドがやりたいことだからそうだけど。でも例えばやりたいことが別のことだったりすれば、やりたいことに対して変わるって・・・やりたいことがバンドじゃなくなればまた変わると思うし。
Y：それは興味の対象が、例えばバンドじゃなかったとしたら、仕事は変わってた？
G：・・・可能性はあるよね。例えば専門学校で習ったのがDTPとか、まあ出版関係とかグラフィックとかやってたんだけど、そういうのに本当に行きたいと思ったら、で、バンドやってなかったとしてね、したら多分そういう方に行って。でも多分そういう仕事でバンドが出来ないのはわかりきってる部分もあるから。
R：まあ一般的にはそう言いますよね、やっぱり。
G：俺普通に倉庫で働いてたからね、半年間。で、かなり切ない話しなんだけど、卒業するときに一回家でやれって言われて、で、直前に断ったんだ。三ヶ月くらい前に言われて最初やるとは言ったんだけど、卒業する直前にやっぱできないって辞めて。それからもう悲惨で・・・親とも口もきけないし、朝9時に起きて外出てって、バイトでもいいから職探しつつ、とりあえず親父と会わないように(笑)。朝からもう求人の雑誌買って多摩川で見てるって(笑)。そんな生活になって。
Y：いやだなあ、それ。
G：それがまあ一ヶ月くらい続いてもうどうしようもなくて。一応最初は出版関係で探してたんだけど受かんなくて。それで結局そんな、やばいから普通に倉庫でやってたんだけど。あれは切なかったね。
Y：とりあえず自営はなんだかうらやましいと言う漠然としたイメージはここで見事に打ち砕かれたね。
G：まあね、会社次第。うまくいってれば問題ないからね。
Y：ずっともう昔から小規模な感じでやってたの？
G：もう人数が少ないから。うちの親父なんかフリーでやればいいってことだよね。
Y：結婚とかそういうのは考えてるの？
G：それは・・・(一同笑)。それは恥ずかしいや。
Y：結婚とかして生計を立ててかなきゃいけない状況になったときに・・・なんていうんだろう。今仕事がなんかやばいみたいな感じだったけど、例えばもっと(給料的に)いける会社に行くとか、あるいは今の仕事で盛り上げていこうっていうのはある？
G：それは・・・無理。答えらんない。わかんない。それなんとも言えないなあ。そうならなきゃしないだろうな。うまくいってなきゃ。
Y：当面はそういうこともない？
G：そんなこと逆に聞きたいけどね(笑)。
Y：それはあとで(笑)。
Y：普通は3つのバンド(DECIDE、PALUKA、CHESTNUT)をやりながら仕事をやるって言うのはすごく大変そうに見えるんだけど、それは意外と何とかなってるってこと？
G：そうだね。平日ってのと、仕事が・・・まあ俺が1時間かけて練習行くようなことじゃないからまあ大丈夫。
Y：やっぱ地元で仕事をやって、地元で練習って言うのはメリットって言うかやりやすい環境？
G：あとはまあいろいろ一緒にやりたい人もいるけど、やっぱり地元でやってるって言うのが気分的には欲しいところ。
Y：結構ローカル意識って感じ？
G：まあ俺だけかも知んないけど、それは欲しい。
Y：それはわかる気がするな・・・。では仕事やる上でバンドが犠牲になったり、バンドをやりたいけど仕事のせいでそれが出来ない部分があるとかそういうのは感じたことはある？
G：感じるのかなあ・・・。でも他の人から比べれば優遇かもしれないけど・・・。でもあるときはある。逆に(仕事を)休むっていって気軽に休めるもんでもないから。まあ仕事の日程があると気軽には休めない。それはある。
Y：それでライブ断ったりとかある？
G：でもなるべく俺が理由ではライブキャンセルはない。
Y：そういう予定が入ったらバンドを優先するようにしてるの？
G：バンドを優先って言うのも変なんだけど、例えばみんながさあ、ライブ行ってその日一日が全部仕事できなくなるわけじゃん、もう(ライブに)行っちゃったら。でも俺の場合は帰って仕事って言う裏技があるから(笑)。まあそういうプラスがある。
Y：そこで変な気持ちって言うか、「ライブや練習やってたさっきまでの俺は誰で、今は一体何やってんだろう・・・」って・・・。
G：いや、それはないね。両方一緒だよ。逆に、だから案外仕事と(バンドを)分けてない部分があるかもしれない。家だから。
Y：仕事って言うよりは、本当に生活の一部？
G：そうだね。
Y：それは良くも悪くも？
G：そうだね。だから完全に分けてた方が楽かも知んないけど・・・、家帰ったらそういう(これからまた仕事をする)話しが出てきちゃえばそれはねえ(やらなきゃいけない)、なくせない部分があるから。
Y：じゃあ夕飯とか食べててもあんまり仕事から完全に抜け出せないような・・・。
G：まあ忙しいときは本当に、さっきの話しじゃないけど仕事の合間にトイレで寝てるような感じ。
Y：実家の仕事のメリット、デメリットって言うのはある？
G：まあどっちも。
Y：あまり企業に従事してって感じじゃない？
G：そんな企業っぽくないけどね(笑)。
Y：利益を求めてるとかそんなではない？
G：いやでもそりゃあ求めるよ。自分の生活的には赤字で困ってるから。
Y：でもそれが必要以上のじゃなくて・・・。
G：いやでもね、それは必要以上になればうれしいけど・・・今そこに行ってないから。いや、そんなん儲かるんだったらそのほうが全然いいよ。
Y：昔は結構儲かってっていうか、黒字だったの？
G：黒字はある程度。そんな儲かったってほどでもないから。
Y：いわゆるバブル経済の頃はどうだったの？
G：その頃に結構借金を作っちゃった感じなんだよ。
Y：・・・あんまりいい目見てないね・・・。
G：どっちかって言うとそうかも知んないね(笑)。あの～、やっぱそのバブル期に銀行とかもお金を貸すじゃない。設備投資とかそのツケが今まわってきてる部分もあるからね・・・。今だと同じような設備にするんだったらお金なんかほとんどかからないから。
Y：じゃあこれからの展望って言うのは。
G：会社？
Y：うーん、じゃあ両方。バンドとか自分が楽しいことと仕事。あるいはその両方(仕事と楽しいこと)の兼ね合いについて。
G：仕事に関して言えば俺がホント担当できるようにならないと・・・立て直せない。がんばらなきゃ(笑)。まあ自分的なことで言えば・・・まあ・・・・仕事に関してもバンドに関しても普通にならないようにやっていかないとバランスが取れない。まあ・・・楽しめないくらいだったらやめたほうがいいじゃん。こんなことって別にどっか余裕がないと出来ないよ。だから自分が楽しめないでやってるんだったら、やる必要はない。まあそういう言い方するとあれなんだけど、まあどっかで(バンドは)絶対やるものだって気分はあるんだけど(笑)。
Y：それはわかる。
G：それはあるけど、それすら楽しめないんだったらどっかでやめないと意味がないから。まあどうあがいても楽しいんだろうけど(笑)。あと1、2年・・・1年ぐらいでちょうどギターとかバンド始めて10周年、自分の中で(一同おおーっ)。まあ全然演奏とか出来ないけど(笑)。とりあえず始めたのが。結局楽しいからやってるんだろうし。苦しんだり悩んだりもするけど、一番楽しいんじゃないかな。
Y：そういうことも乗り越えて楽しめるって言うか・・・。
G：乗り越えるって言うか、それ自体を楽しんでんのかも知れないし・・・。自分でも忙しいとか思うんだけど、バンドがいくつかあって、ディストロやって、仕事があって。でもそれ望んでんのが自分だから、だめだと思ったらやめればいいじゃんって言う・・・、気持ちはどっかで持ちつつやってるかな。
Y：バンドが3つとかあって、ああなんか多いなあとかそういうふうに思ったりする？
G：あるけど・・・。たまにあるけど、それも自分で望んだことだし、バンドやりたくてやってんのに、他のことでもお金使ってバンドうまく動かせなかったらいやだから。それだったら他のことにお金を使わなきゃいいかな。楽しいことしたいから。
Y：とりあえずバンドやってることがトータルで楽しいって言える状況ってこと？
G：そうなのかなあ。
Y：それでもうやめようとかって深刻に考えることはない？
G：そんなふうには考えたことはないんだけど、ただ楽しくないんだったら自分で選んでるだけだから、やめればすむことだから。今全然そういう気はないし。
Y：将来的には30歳でやめようとか、結婚したらやめようとか、子供が出来たらやめようとかそういうのはない？
G：いや、それはある(キッパリ)。どっかでやめるんじゃなくて、けじめをつけないとすべてがうまくまわらないときが来ちゃうかなって言う。仕事をちゃんとしてて、お金がちゃんと稼げるんだったら多分それは努力すれば可能だと思うんだけど、でも俺はバンドいくつかやってるわけで、その中で絞らなくちゃいけないときがやっぱり出てくるんじゃないかなっていうのが・・・怖い。それはやめたくないのができなくなるって言うときが来るんじゃないかなとは思うんだけど。
Y：そんな予感はしつつも、今を優先って感じ？
G：今を優先って言うのもあるし、だからこそ今を大事にしなきゃって言う・・・。ま、でも年齢的にはさあ、思わない？そういうこと。
Y：まあやっぱり考えるね。そろそろ。仕事とかさあ、やってくにつれて責任が出てくるとやっぱりあるな。例えば今日は自分のライブあるから帰りたいって思ってても、仕事片付かなければ帰れないとしたらやっぱりほっぽって帰るわけにはいかないから。「ライブが始まるから、あとは明日やります！！」なんてそれが通じるんだったらいいけど、それが出来ない場合はどうするかっていうのはまあもちろんあるし。そういうことばっかりだとバンドにも迷惑かかるし、仕事にも、会社って言うか一緒に仕事やってる人にも迷惑がかかるし、しかも会社での迷惑って言うのは社会的な迷惑で、それがどんどん拡大していくする場合も責任の大きさによってあると思うし。それだったらお金もらってる以上、それで自分の生活が成り立ってる場合はやっぱり仕事を優先せざるを得ないのかなっていうのは思うから、やっぱある程度は、たとえバンドがどんなにやりたいことであってもお金があってこそ出来るから。だいたいのものごとがそうだけど。
G：まあね。これは・・・ちょっと書かないほうがいいと思うけど。
Y：でもこれが一番核心じゃない？そういうのを聞きたいインタビューだからいいんだよ。
G：結局会社がだめで、自分がもっとがんばらなくちゃいけなくて、でもバンドは3つもやってててがんばれない。なんか甘えてるよね、俺は。究極的には甘えてるからちゃんとやらないし、やってるつもりだけど、仕事覚えるとか足りないし。
Y：でも家の事情があるから・・・(やらざるを得ない)。
G：そうだね。
Y：じゃあ最後に一言。何かあれば。
G：みんながんばりましょうとか(笑)。なるべくやりたい仕事をやった方がいいかなとか。あ、でもちょっと待って。こんなこと言ったらすごい人生経験豊富な人みたいでいやだな(笑)。ま、素直にCHESTNUTとPALUKAとDECIDEをよろしくお願いしますみたいな(笑)。
Y：わかりました。ありがとうございました。
G：ありがとうございました(笑)。

★ライブインフォメーション

●womb

10月14日(MON)　小岩eM SEVEN
小岩eM SEVEN PRESENTS "SHOW GUN VOL.1"
OPEN 17:30 START 18:00 ¥1000/¥1500(+1DRINK)

W/COUNT OF STRENGTH, FORGET ME NOT, LOST PARTY, SMASH YOUR ENEMY, STINGER, 左廻

●PALUKA

10月14日(SAT)　鶴舞 某公園内
START 16：00

W/ATCOST46, DEADLY FRIEND, DISTRICT, IN MY PAIN, NK6(東京), UNLEASH, VENUUX, WAR CRIMES, WE MUST BURN, 48, ハンマー(東京)

10月27日(SUN) 武蔵境STATTO
SOL & SKINNY DIP PRESENTS "TONIGHT I'M GONNA ROCK YOU VOL.2"
OPEN 17:30 START 18:00 ¥500(+1DRINK)

W/ABDUCT, CIRCLE X, CORONA, FIDO'S BRANCH(仙台), FUN FREAKS(秋田), MUTANT, THE YOUNG DAYS NO RETURN

12月29日(SUN) 高円寺20000V
DENY THE REPORT4 CD発売記念ライブ

W/BREAKFAST, EL CAMINO 53, FIDO'S BRUNCH, RISE AND FALL, WE MUST BURN, ETC...
-PALUKA,EL CAMINO53はゲスト出演、他オープニングアクト有り-

【　暮らし　】

一人が怖くて　今日も飲んでる
素面が怖くて　飲んでいる
本当のあたし　とっくに忘れた
被った仮面が重過ぎて
もう　歩けない

飲んでいるのは酒じゃなく　言えなかった言葉
飲み込んで　飲み込んで
この胃を焼きつくす
酔っているのは言葉だけじゃなく
この悪い酒
飲み込んだ分ほども　救ってはくれない

震える腕で　ナイフを捕った
逃げそうな手を　ナイフで捕った
本当のあたし　捕まえたい
どこへ行ったの？　遠すぎて
追いつけない

【　何も無いかもな　】

上手く行かないのは　なんでだろう？
今より少し　幸せになりたいだけなのに
いつもいつも　なんでだろう？
ここぞという時に　上手く行った験しがない
振り返れば　長い道のり
気が遠くなるほど歩いてきた
辿り着きたい場所がわからないから　ただ闇雲に歩く
ここより明るい場所を目指して　ただ闇雲に歩く
ここではない何処かへ

今どの辺に居るんだろう？　そんなことすら判らない
不安ではあるけれど　聞く人も居ない
尋ねれば誰か　答えてくれるだろうか？
オウム返しのヤマビコ　答えなど無いという
もう一歩だって　歩けない
なりたい自分さえ判らないから
這いずってでも行く
ここより明るい場所があるなら
這いずってでも行きたい
こことは違う明るい何処かへ

はじめに
私は、音楽に対し特別な知識を持っているわけでもなければ、文章作成を依頼されるくらい文章能力に長けた人物ではない。そのため、このコラムは特別に読む意味を持たないものに仕上がっているように思うが、そんなコラムをこのフリーペーパーに寄稿することになったきっかけを作ってくれた編者にいくつかの疑問と多大な感謝の気持ちを伝えたい。

夏という季節は、なぜか何かをしたい、またはしなければならないという衝動にかられる、という経験はないだろうか。毎年そう思いながらも秋を迎えるころには後悔の念と共に来年こそは必ず、と考えていた私は今年、転機を迎えることになった。
8月某日、私は、東北の某県から一人、車で大阪に向かう。総移動距離1800Km、移動に費やした時間は24時間を越える旅となった。表向きの目的は、母校が初出場する甲子園の応援であるが、一人旅のもう一つの目的はある女性に逢う事にあった。一応、友達というスタンスは取っていたが、実は逢うのが今回初めてであった。そう、いわゆるメル友と呼ばれる友達だ。ただ、二年間もパソコンの中でコミュニケーションを取っていたので、その間に電話や写真などで声や、容姿は大体把握できていた。もちろん彼女に対して極めて男性的な期待が少なからずあったことは否定できない訳だが…。
二人の出会いはお世辞にもかっこいいモノとは言えなかったように記憶している。中途半端にお互いの顔を知ってはいるものの、対面して話すのは初めてだったために妙な照れがあったためだったと思うが、不思議と嫌な気分ではなかった。会話にも少し慣れが見え始めてきたころ、彼女の家に招かれた。招かれたといっても、私の寝床がないためになかば無理やり寝る場所を作ってもらったようなものだが…。

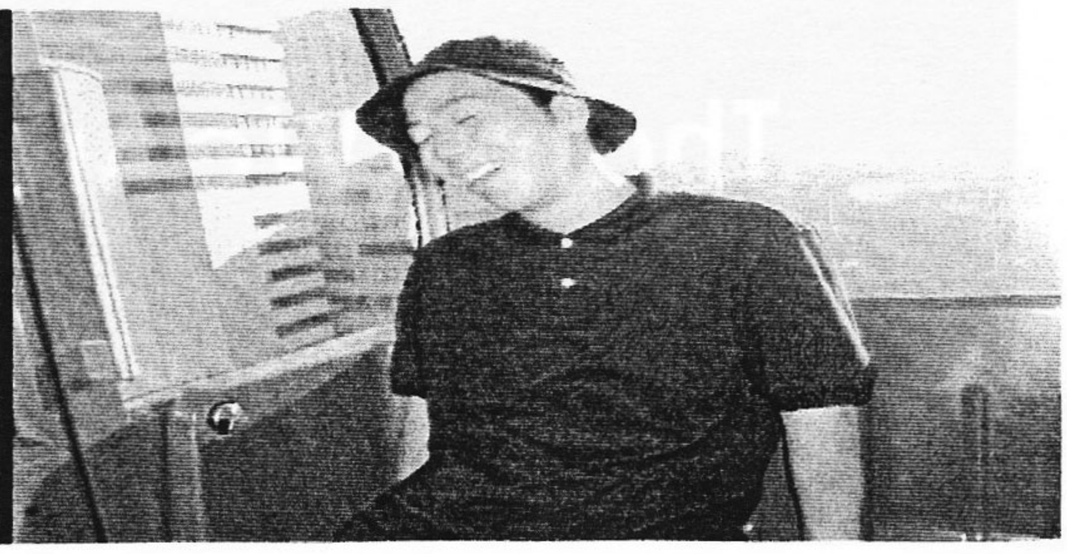
彼女の家に入ると、なぜだか違和感を感じた。我が家にかえって落ち着くはずの、彼女の表情がどことなく沈んでいるからだ。詳しく聞くつもりはなかったが、彼女の家における人間関係がそうさせていることくらいは予想ができた。普段は明るく振舞う彼女に一筋の影が見えたことはショックであったが、その影が人間らしさの証明と考えるとなぜだか少しホッとした。
数日間共に過ごし、大阪を離れる日の前日、彼女は突然に泣き出した。離れてしまうのが悲しいということであったが、私は単純な愛情がそうさせているようには思えなかった。「愛情」というよりは、「人間的」な部分での感情だったのだろうが、それで満足だった。ここからは勝手な憶測だが、家に帰れば、家族と関わることなく一人部屋に閉じこもり、部屋中に飾られた、ある男性との写真と、日焼けの後がハッキリと残るまで外されることのなかった意味ありげな指輪を見て過ごしているであろう彼女は、恐らく孤独が怖かったのだと思う。数日とはいえ、私と居た時間は、普段孤独な彼女を和ませるには決して短い時間ではなかったのだろう。
不謹慎な話しであると思うが、実は彼女が泣いている時間が私の旅の中で一番楽しい時間であった。いつも人間関係を疎ましく思い、人との関わりを避けていた私だが、彼女の涙はその価値観を壊してくれた。彼女とは最後まで男女の一線を超えることはなかったが、そんなことよりも、深い部分でつながっているような気分が純粋に嬉しかった。

初めての一人旅は、かなり密度の濃いものとなった。母校は一回戦で負けてしまったが、そんな事は帰るころにはすっかり忘れていた。そこにあったのは、お互いまだまだ遠慮しながらも、一人の「人間」と通じ合う事ができたという充実感だけであった。実家に帰ってからは、何事もなかったかのように軽薄な人間関係の毎日だが、それでも旅をする前とは全く違う夏が私の目の前には広がっている。
みなさんはどんな夏を過ごしましたか？

※　この文章には一人の女性が登場しますが、この女性についての私的な領域についての表現を、未承諾で文章にしたことを深くお詫び申し上げます。

ThanxBestFriends

ShunsukeTakahashi



Sackey'sLastColumn

先日、10年くらい前に大好きだったバンドのビデオを観る機会があった。全く古さを感じさせなくて純粋にぎゃー!すげー!って興奮しまくった。その一方で、ふと「ああ、あの『お祭り』はとうの昔に終わってしまってんなぁ」という風に改めて実感した。

昨年かよちゃんとやった企画、終わったばかりの時は事前の準備があまりにも不備だったこともあり、あれも出来なかった、これも足りなかった、バンドの皆様にも迷惑かけたし次はもっとちゃんとやろ、と思っていたのに、いつまでたっても具体的な企画に取りかかる気がわかず(頂いたメールにさえ返事も書かないという非常識なことをしてしまった。本当にすみませんでした)、そのうち、あんなに毎週末のように足を運んでいたライブにさえ出向かなくなってしまった。パンクやハードコアを嫌いになった訳でもないのに、なんでかな?と自分でもよくわからないうちに1年以上たってしまったのだけど、もしかしたらあの企画で、自分の中で10代のころからずっと続いていた『何か』に、無意識のうちに区切りをつけてしまったのかもしれないと思う。

ところで、この1年、まわりの友人に結構深刻なことがたて続けにあって、なんだか40代でするような苦労を20代でしょってしまっていたりするのを見ると、あたり前のことを当たり前にするのってすごく難しいし、弱さを克服して強くなりたいって強烈に思う。またこの2年程ぼちぼちやってきて、何事も気の持ちようで変わるもんだな〜、という感じがする。今も漠然とした不安や焦燥感に襲われることは多々あるけど、うじうじ悩んだり(今思えばなんと贅沢な時間の使い方だ!多分そういう自分に酔っている面もあったんやろーな、ははは…)する位だったら、走る!それでも直らなかったら…明日考えよ、とか。イヤなこと何時までも考えると余計気がめいって悪循環になってしまうし、そこから抜け出すのって結局自分でしかないし。この年になってようやく、ある程度自分のコントロールの仕方はわかってきたような気もしないでもない(ただ、「いったいどこまで強くなればいいんでしょう!どんどん走る距離増えてるんですけど!」っていう別の悩みが…)。

そんなわけで、現在はちょっと音楽とはつかず離れずな生活をしているのですが、ファンジンのほうもラストイシューということで、一区切りとしてページをもらってしまいました(音楽と関係ない話ばかりで申し訳ない)。いい加減で勝手な奴だとご立腹の方もいるでしょうが…またどこかのライブ会場でひょっこり会うことがあったら、その時は楽しい話をしましょう。

それでは、ごきげんよう!

Thanx![WeAre]Off!!Friend...

TerukoSakimoto

[WeAre]Off!

ILivedTooLong,SoLongWhatIGotInMyHands, SinceThanICan'tMoveAnything.

上に書いたのは大好きなCoccoの〃Still〃って曲の1フレーズ。私は今まで生きてきて何を手に入れたんやろ?思いつく限りたった一つだけあった。それは友達…。皆にはBestFriendと呼べる友達が何人いますか?友達って意外と簡単になれたりするものだけど、BestFriendとなるとなかなか…私はこの年になってやっとそういう風に呼べる人が現れた。それが私にとっての手に入れたものかな…。

私が音楽(バンド)に興味を持ったのは14歳ぐらいの時、ジャンルは色々通ってきたけど好きなバンドに対する執着心(怖)は人一倍やったような気がする…自らもバンドを15歳ぐらいからやって夢を持ってた。(ちなみにパンクとビジュアル系のかけもちドラムをやってた。)その私の中のバンド生活は20歳まで続いて(レディースバンド)てんけど、20歳を過ぎたぐらいからメンバーが皆、結婚や異性関係に目覚め私の夢だった(バンドで食っていく)は脆く崩れていった…。その時点でやめてしまった私はそれだけの思いしかなかったからあの時新たにバンドを組むって行動をしなかったんやろうなぁ〜(今になって思う事)。

20代半ばでまたハードコア/パンクってものに目覚める…。今度はバンドじゃなくバンドしてる人達に異常に関心を抱いてしまい、その結果がつい最近までの私だったりする。友達も彼氏(過去)もバンドしてる人じゃないと嫌っていうぐらいの徹底ぶり…。しかし今はそうでもないしそんな事を言ってられる年でもない(涙)。

私にとって音楽を通じて知り合った人達は一時の熱病?だったような気がする。時間が経てばその人達は私の前からいなくなってくし…。ずっとその関係を維持していけるものでもなかった。知り合った瞬間はかなり嬉しいんやけど。同じバンドが好きとか同じような音が好きとかで親しくなれる…。でも時間が経てば知らない人に変身…過去の人へと変化し忘れ去られていくように感じる。音楽を通じて色んな人と知り合えるけど、音楽を通じて一時の夢?みたいなのも見れる…それがその人達にとって幸せだったことなのか?そうでもなかったことなのか?個人によって考え方は違うと思うけど…。私は幸せって感じた後に必ず不幸だー!って思ってしまった瞬間がたくさんあった…音楽を通じて知り合った人達に。今考えれば(良い夢を見させてくれてありがとう)って気持ちがいっぱいかな。良い事ばかりではなかったけど悪いことばかりでもなかったし、すごい自分的に充実してた期間も音楽を通じてあったからね…。

Interviewさせてもらったバンドの人達も何年か経てば私のことは忘れてるんやろなー(涙)とも思う。でも、その人達の記憶の1ページ?にこの[WeAre]Off!ってのがあって(そういえばあんなヤツにInteviewされたなぁ〜)って感じで記憶の片隅にでも残ればなーと思ってます。私がバンドに関わってきて得たものは何かあったかな?自分の中に少しだけ、心の片隅に滞在させているような気がします。今、バンドしてる人達の凄い!って思えるところはちゃんと仕事して、バンドもしてるところ!先々のことも考えながら?バンドも趣味としてがんばれるなんて凄いなと思った。とりあえず私は目先のことしか考えない人間なんでその結果がこのようなダメ人間に成長したと思います。そのダメさ加減はあえてここでは公表しませんが(恥)。

私がこんな風に([WeAre]Off!を書いて)何かを書いて、少しでもInterviewしたバンドの人達に役立ってるのか?わからないけど自分の好きなことをこういう風に表現できて良かったよ。バンドの皆様はバンドというカタチで自分達を表現する。私はこのPaperを通じて私ってものを表現できた。これも自分だけのチカラじゃなく、バンドの人や友達に支えられたおかげだと思ってます。どうもありがとう。それとここまで読んでくれた人達ありがとう。[WeAre]Off!!を読んで、何か思ったり感じたりした人メールなり手紙なり下さいね。

私の未来はどう変わるか?わからんけどNagativeに考えずに何とか生きてみようと思います…。

■□ AfterWords □■

編集してる途中、何度もめげそうになった…。何とな〜くモチベーションが消えていくような…。しかぁしっ！なんとかもちこたえて無事完成♪これも友達&ある一部のバンドの皆様のおかげです。迷惑をかけてしまったバンドの人ほんとゴメンナサイ!Interview読みなおしてみると何か不完全な感じがする…だけどこれが私の精一杯です。Interviewに答えてくれたバンドの皆様、[WeAre]Off!に協力してくれてどうもありがとう&ごめんなさい。

また、どこかで私を見かけたら声でもかけて下さいね。嫌でなければお酒も付き合います…。一緒に楽しく飲みましょう♪
みんな元気で過ごして下さいね。また、逢える日が来たらよろしくです。

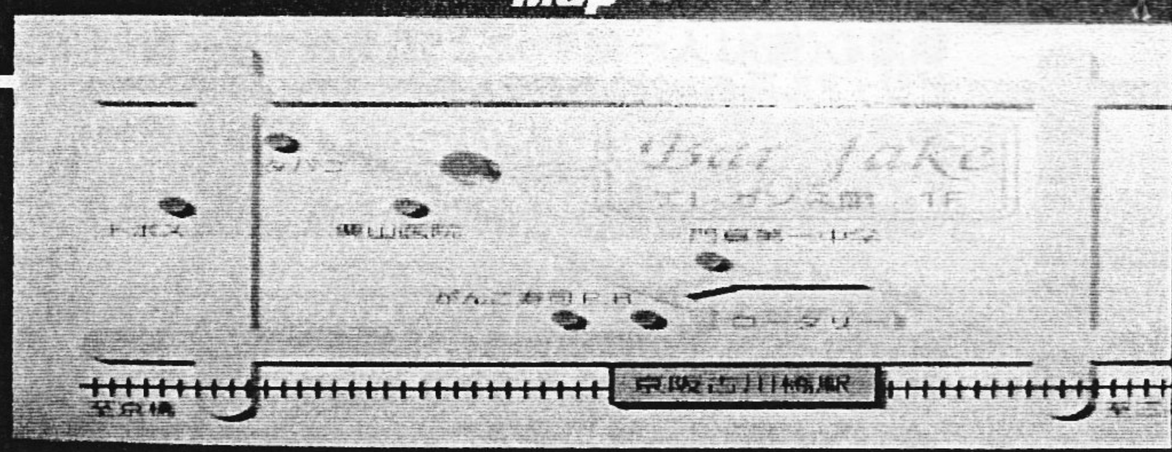
[WeAre]Off!TheFinalChapter

ContactUs
2-26-20KajimachiMoriguchi-City
Osaka.Zip570-0015
KayoNakahigashi
e-mail/kayo-chi@mub.biglobe.ne.jp

BarFake

15-7KoufukuchoKadoma-City
Osaka.Zip571
Call:06-6900-1348
BBS:http://8411.teacup.com/koufukujinjya/bbs
Open:20:00~

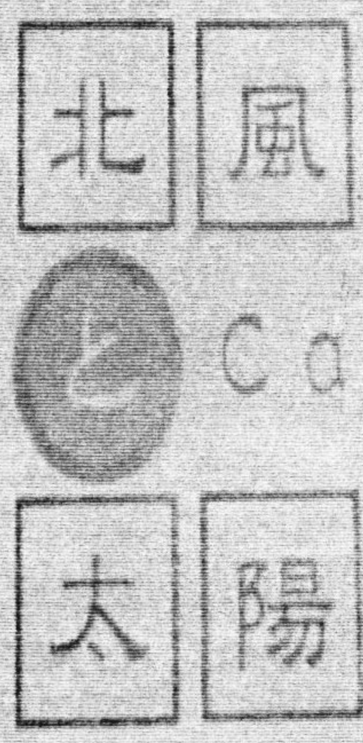
Map

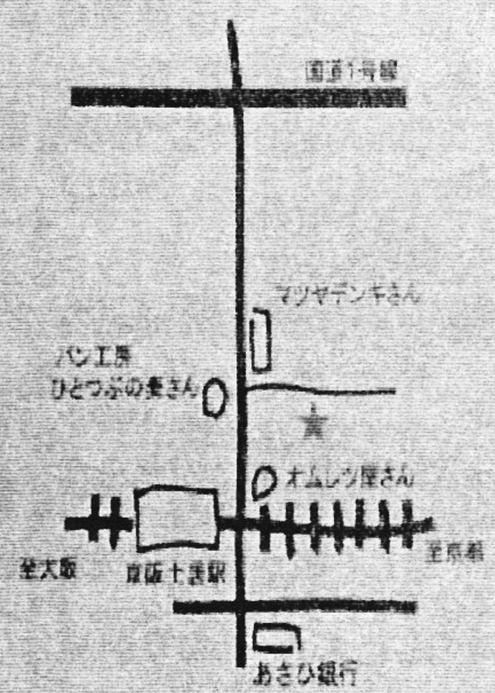


Menu

Whisky&Bourbon/Gin/Rum/Vodka/ Tequila/Beer/Wine/	¥	500	~
Cocktail/	¥	700	~
Brandy/	¥	800	~
Food/	¥	400	~
Pasta/	¥	1000	~

...AndOthers...





住所-大阪府守口市土居町5の1(路地入り)
電話-06-6992-6432
営業時間-AM11:00～AM2:00

SpecialThanx...!

Neoteny.earwax.AfterForever.R3-N7.
GaugeMeansNothing.S41.Ieatme.
KasanumaSan&Ryuzakikun
(HatarakuhitotachiPage)
TerukoSakimoto.MiyukiHanada.
ShunsukeTakahashi.SiroSan(BarFake).
HidakaSan&NaoChan(kitakazeToTaiyou).
VjyDistro(Tawacchi).YoshimiSan(Neoteny).
Mizunokun(earwax).Miki.Rin.
...AndMyFriends.

vjy distro stock list

the assistant/scarlet letter - split7" ¥600
disembodied - two unleleased studio trucks7" ¥650
grievance - st7" ¥600
kungfu rick - statues to stones,soilders to bones.7" ¥550
neil perry/kaospilot - split7" ¥550
portrait - st7" ¥600
the swarm/force fed glass - picture split 7" ¥700
v.a - songs of the dead 7"
(orchid, the ultimate warriors, and other 4 bands) ¥500
cattle dicapitation - homovore lp ¥1100
his hero is gone - fifteen covents of arson lp ¥900
the ultimate warriors - our gimmick as wrestling lp ¥1300
endeaver - don't die with your eyes closed cd ¥1300
kungfu rick - motivation to abuse cd ¥1100
ruination - year one cd ¥1200
serotonin - universal time constant cd ¥1300
serotonin - early works cd ¥1200
society's finest - the journey so far cd ¥1500
thought of ionesco - abnormalities cd ¥1300
total fucking destruction - demos for japan 2002 cd-r ¥800
tr/sutek conspiracy/catheter - 3way split cd ¥1100
racebannon/mara'akate - split6" ¥700
asterisk/jenny piccolo - split10" ¥1100
coalesce - last call for the living bizarre die cut vinyl 10" ¥1450
swing kids/spanakorzo - split 10" ¥900
v.a-transiter vhs
(kill your idols, pg99, creation is crucifixion, and other 8 bands) ¥2000
society's finest - L t-shirts ¥2000
locust - trading card ¥700
anchor -キズ cd ¥600
crow dragon tea - 2nd demo tape ¥100
master peace/crow dragon tea - osaka h.t.p.s 2002.split demo tape ¥200
S41 - demo2 tape ¥100
we must burn - ... and we burn demo-tape ¥200
v/a - bunned in Nagoya tape
(one line,district,nine curve,linkage,furious about,unleash) ¥300

soon
the assistant - s/t cd
an albatross - eat lightning, shit thunder cd
fall silent - nineteen hundred and ninty seven cd
kung fu rick/ultimate warriors - split 7"
kylesa/memento mori - split 7"
memento mori - lp
you and I - the curtain falls cd

please contact me!!!
http://members.tripod.co.jp/aditatsu/index.htm
aditatsu@plum.plala.or.jp
〒６４０－８３２７
和歌山県和歌山市橋向丁４０
田和　竜弘